

# CSPFC月例会議

#### 4, 5月新規入会 (会員数が50となりました)

MOVETEX 株式会社

アイサンテクノロジー株式会社

株式会社 Y4.com

株式会社ウエル医療介護総合センター

#### 活動報告 ※毎週木曜日豊能町定例会 (現地開催のみ日付記載)

4月13日14日 豊能町職員セミナー

15日 リビングラボ開業式

18日 R3年度総務省事業補助金受け取り

5月10日 デジタル田園都市交付金 申請 (豊能町)

12日 豊能町定例会現地開催

13日 利用者向けデジタル活用支援推進事業【地域連携型】申請

DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進による観光・地域経済活性化実証事業 申請

16日 スマートシティ関連予算申請 (総務省、国土交通省、経産省)

25日 スマートシティ・データ利活用～ノーコードを用いた地域課題解決 市町村説明会

26日 豊能町定例会現地開催

27日 豊能町職員セミナー2

30日31日 笠間市視察

31日 共創モデル実証プロジェクト 申請

担当府省	事業名	備考
内閣府・デジ庁 「デジ田」	デジタル田園都市構想（TYPE2）・豊能町	審査中
内閣府「未来技術社会実装事業」※	コンパクトスマートシティパーク データダッシュボード	審査中
総務省「地域課題解決のためのスマートシティ推進事業」※	コンパクトスマートシティ広域化とサービス拡充	審査中
経済産業省「地域新MaaS創出推進事業」※	マルチモビリティ・マルチサービス事業	（未）
国土交通省「日本版MaaS推進・支援事業」※	コンパクトスマートシティモビリティプラットフォーム	（未）
国土交通省「スマートシティ実装化支援事業」※	スマートシティインターフェースの構築事業	審査中
国交省「共創モデル実証PJ」	共創による地域交通形成支援事業（共創モデル実証プロジェクト） 豊能町交通課題の解決に向けて	審査中
観光庁「DXの推進による観光・地域経済活性化実証事業」	令和4年度「持続可能な観光推進モデル事業」	審査中
総務省「デジタル活用支援推進事業【地域連携型】」	情報通信利用促進支援事業費補助金 （令和4年度利用者向けデジタル活用支援推進事業（地域連携型））	審査中

デジタル田園都市構想に向けて、豊能町光風台を中心として新たなコミュニティをデジタルサービスを活用して構築を目指します。

公園整備を行いながら、健康や交通を中心に取組みます。

## コンパクトスマートシティパーク

豊能町コンパクトスマートシティを産官学民で構築できる環境

学

- ・ 廃校活用  
廃校活用として国内外の企業や大学とも連携してデジタル環境の文化形成
- ・ 小中一貫校  
GIGAスクール環境を活用しデジタル人材育成

起

- ・ 起業・スタートアップ育成向けインキュベーション施設
- ・ 大学との連携によりIT企業の促進

活

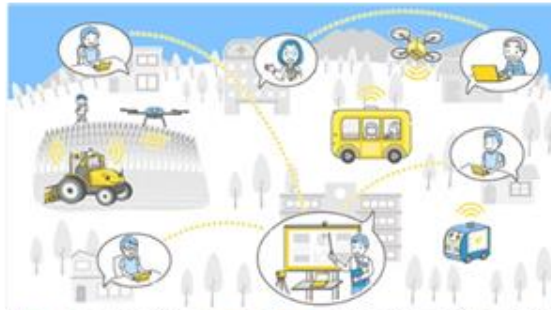
- ・ スマートシティサービスを地域コミュニティで体験し育てる環境
- ・ 地域課題など起業家にとって必要な情報を収集できる環境

交

- ・ 公園を活用して、自治体、地域住民、大学、企業のコミュニティスペースとして活用

防

- ・ 防災スペースとして、災害時の避難などにも活用



JP-LINKなどをベースとしたデータ連携

育

- ・ リビングラボを活用して子育て支援や子育てコミュニティで「孤独感」を解消しみんなで育てる環境を構築

働

- ・ 子育てで離職した親がリモートワークで就労できる環境を整備

買

- ・ 地域スーパーなど連携して買物支援、忙しい子育て家庭や高齢者の支援

健

- ・ 大手薬局と地域薬局を連携して、住民の健康相談を行い、見守る環境

移

- ・ オンデマンド交通などモビリティを活用し移動をスムーズにする環境

豊能町





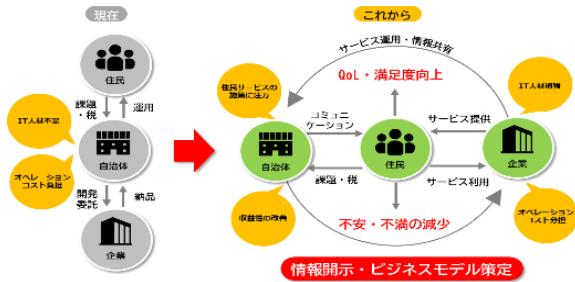
# 解決すべき課題

## 1. 行政内のDX化

エストニアのように99.8%の行政サービスのデジタル化を目指し、職員の業務効率向上を図り、住民サービスに時間を作れるようにしたい。

(課題)

原課は日々の業務に追われ新しいサービスを検討する時間がない。教務の効率化を行わないとスマートシティの政策を考えない。



## 2. 公民連携

自治体と企業と住民が共同でサービスの構築し、引き続き企業が提供する様々なサービスを取り込みシームレスな住民サービスの向上を目指します。

(課題)

自治体だけではサービスが構築で難しい、IT人材もない。



## 3. 住民のITリテラシーの向上

豊能町は65歳を超える高齢者が約48%いるため、引き続きスマホ教室、地域特有課題解決にNoCodeトレーニングで住民や大学生などと解決を図りITに触れる機会をつくり誰一人取り残されないIT化を目指します。

(課題)

高齢者はスマホを持っているが電話利用のみが多く、積極的に使える環境が必要です。また街特有の課題も多く、通常のアプリ開発ではコストが合わない。

高齢者の課題 スマートシティで解決 大阪府豊能町  
地域のチカラ 街のイノベーション  
豊能のチカラ 企画 豊能  
2022/02/28 5:00 | 日本経済新聞 電子版



高齢者がスマートフォンを片手に、タクシーの配車や買い物サービスを自由に使っている様子。町民のおよそ2人に1人が高齢者の次府庁豊能町で、少子高齢化による社会課題をスマホアプリで解決する試みが始まろうとしている。人口減少が続く町の活気を、IT（情報技術）を活用した「スマートシティ」で取り戻す計画だ。

## コンパクトスマートシティパーク 豊能町コンパクトスマートシティを産官学民で構築できる環境



# DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進による観光・地域経済活性化実証事業

**<本事業の内容>**  
**【ターゲット】** 20-40代 全国(特に大都市圏)の若者  
**【事業計画(スケジュール)】:**

5月	6月	7月	8月~	12月	1月	令和5年度
観光環境の可視化	観光環境の整備	アプリ開発 シヨソン整備 サービス環境整備	観光者呼び込み(おてつたび)	アンケート	サービス内容改善	エリア拡充(最終報告)
環境整備/プランニング			実証	検証		魅力度向上

**【開発・活用する技術・サービス】:**

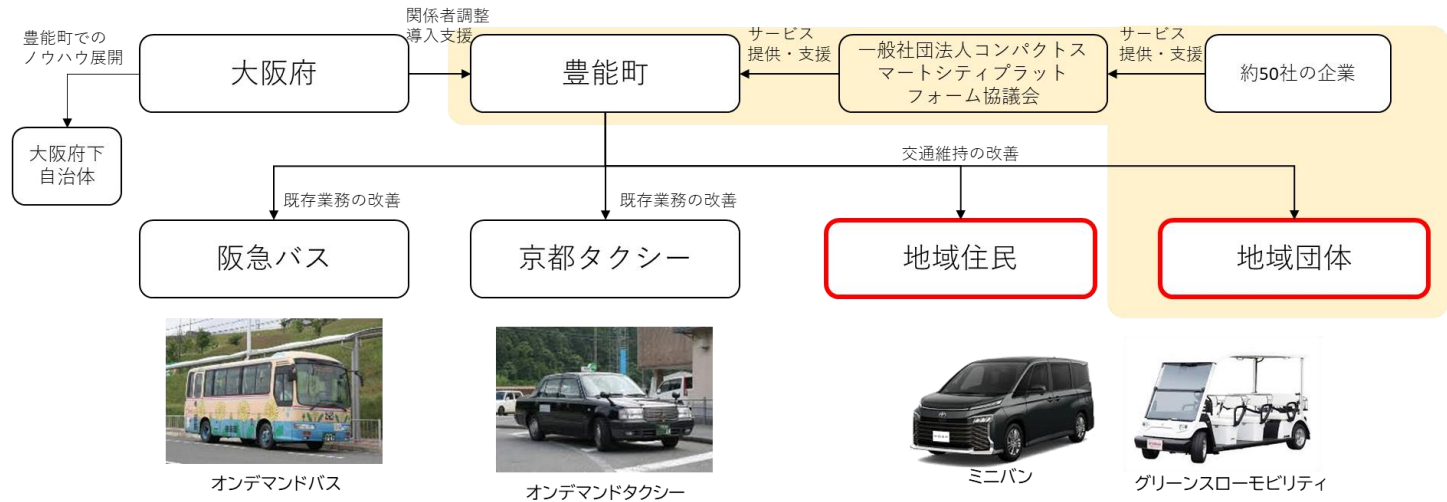
スマートシティプラットフォームを活用し、モビリティ・地域通貨ポイント/ヘルスケアなどスマートシティサービスを活用し利用者のアンケートや利用データなど活用します。

**【実証実験内容】:**

- 観光名所のデジタルでの可視化 (GoogleMapなどへのプロット)、豊能町スマートシティサービスアプリ(とよのコンシェルジュ)への連携
- AIオンデマンド交通との連携と実証
- おてつたび受け入れ先の確保
- 地域通貨・ポイントとの連携
- データ/アンケート分析によりサービス改善

**【本事業におけるKGIとKPI 効果検証手法】:**  
**KGI:** 観光を行いながら、おてつだいをを行う事で地域住民とのコミュニケーションを行う事で、今後豊能町に住んでみたいと思える利用者を増やす。豊能町に「おてつたび」を使って5年後30人/年を目指します。  
**KPI:** 期間と利用者、受入れ先は以下のKPIとします。  
 (また、アンケートを行いながらKPIの設定を具体化していきます。)

## 共創モデル実証プロジェクト



提案タイトル	コンパクトスマートシティパーク データダッシュボード
提案者	活用技術
大阪府豊能町（共同提案）	AI、IoT、クラウドコンピューティング、ビッグデータ、キャッシュレス・ブロックチェーン

## ■ 背景・課題

目指す将来像

- ・移動がスムーズでスマートシティサービスを介して住民のQoLの向上
- ・住民全体が健康で子育てしやすいスマートシティ

解決すべき課題

- ・公共交通の赤字改善、住民不満(50%以上)の改善
- ・少子高齢化が進み高齢者の健康維持、高齢者を支える若者の生活環境の改善

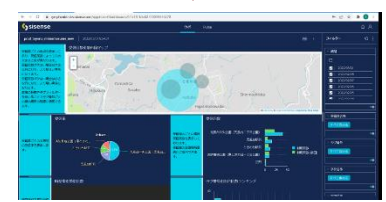
## ■ 実装を目指す主な事業内容

### ○事業: マルチモビリティ・マルチサービス事業

活用技術	事業概要
AI運行バス 人流交通分析 データ連携基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ AIを活用してオンデマンド交通を活用して公共交通の赤字低減</li> <li>・ 人流・交通のデータ分析を行い最適な移動手段の配備</li> <li>・ 健康相談イベントや観光でのシームレスな予約サービス</li> </ul>

### ○事業: スマートシティ住民行動変容事業

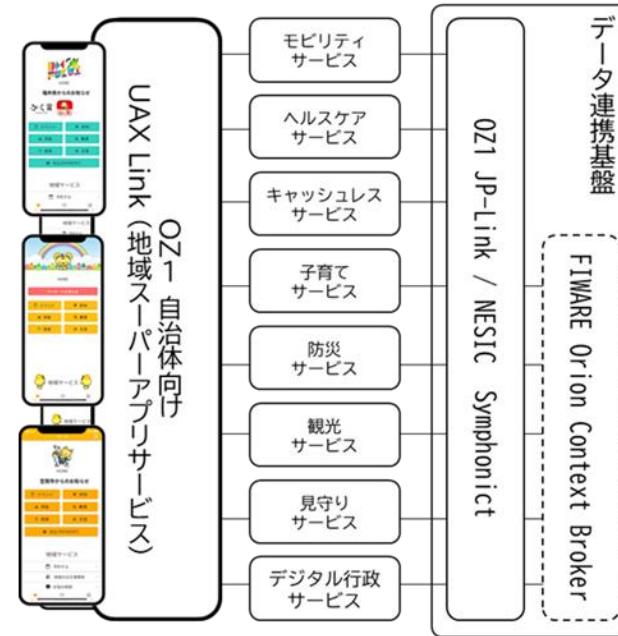
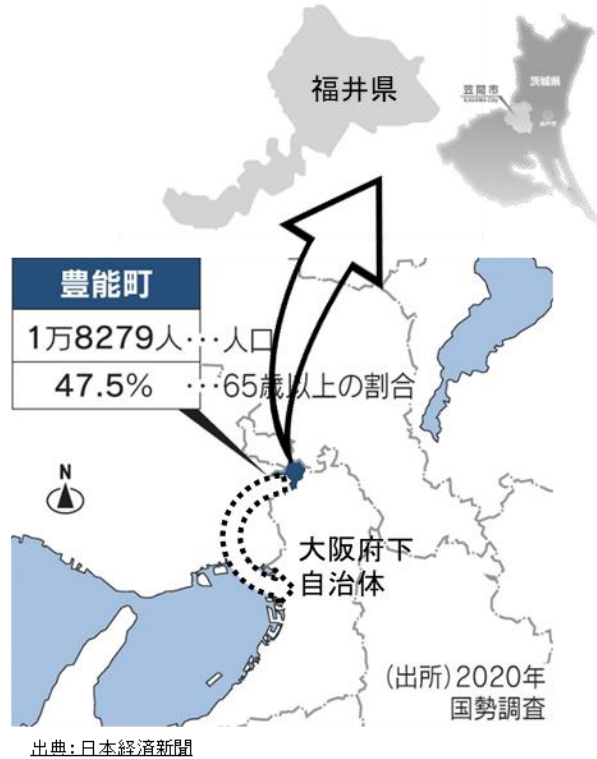
活用技術	事業概要
キャッシュレス ブロックチェーン データ連携基盤 データ連携基盤ダッシュボード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域通貨・ポイントとして商店でのキャッシュレスから始まり、健康増進ポイント、地域清掃ポイントなど行動変容に繋がるサービスとスマートシティサービスを受けるためのポイントに活用し地域経済活性化</li> <li>・ データ連携基盤から住民の様々なアクティビティを可視化を行い、より住民のQoLがあがる政策・施策を行える環境を整備</li> </ul>



住民を見守るデータダッシュボード

総務省

基本横展開と豊能町でのサービス拡充





## ■ 活用するデータとサービス

【具体的なサービス等の詳細】 R3年度に実装したサービスをベースとして以下拡張しデータ活用の促進を行います。

### A) AIオンデマンド交通

＜都市OSとの連携＞

あり

＜地域の抱える課題＞

- ・公共交通は住民の5割が不満を抱え、赤字交通維持経費として6千万円/年出している。
- ・高齢化が進み坂道の多い地区の為、住民の移動困難者が増える傾向にある。

＜サービスの詳細説明＞

- ・交通・人流を分析し、最適交通設備の分析します。
- ・AIオンデマンド交通で、予約サービスとの連携し、利用者の状況に合わせて配車を行います。

### B)ヘルスケア（健康相談）

＜都市OSとの連携＞

あり

＜地域の抱える課題＞

- ・高齢化が進み保険料が増加傾向にある。
- ・コロナ禍で住民も健康に不安を感じており、8割近くが気軽に健康相談できる環境を望んでいる。

＜サービスの詳細説明＞

- ・調剤薬局を中心に保健師、管理栄養士などヘルスラボを活用して健康相談（オン/オフライン）を行う。
- ・AIオンデマンド交通で、対面相談と連携します。

### C)地域通貨・ポイント

＜都市OSとの連携＞

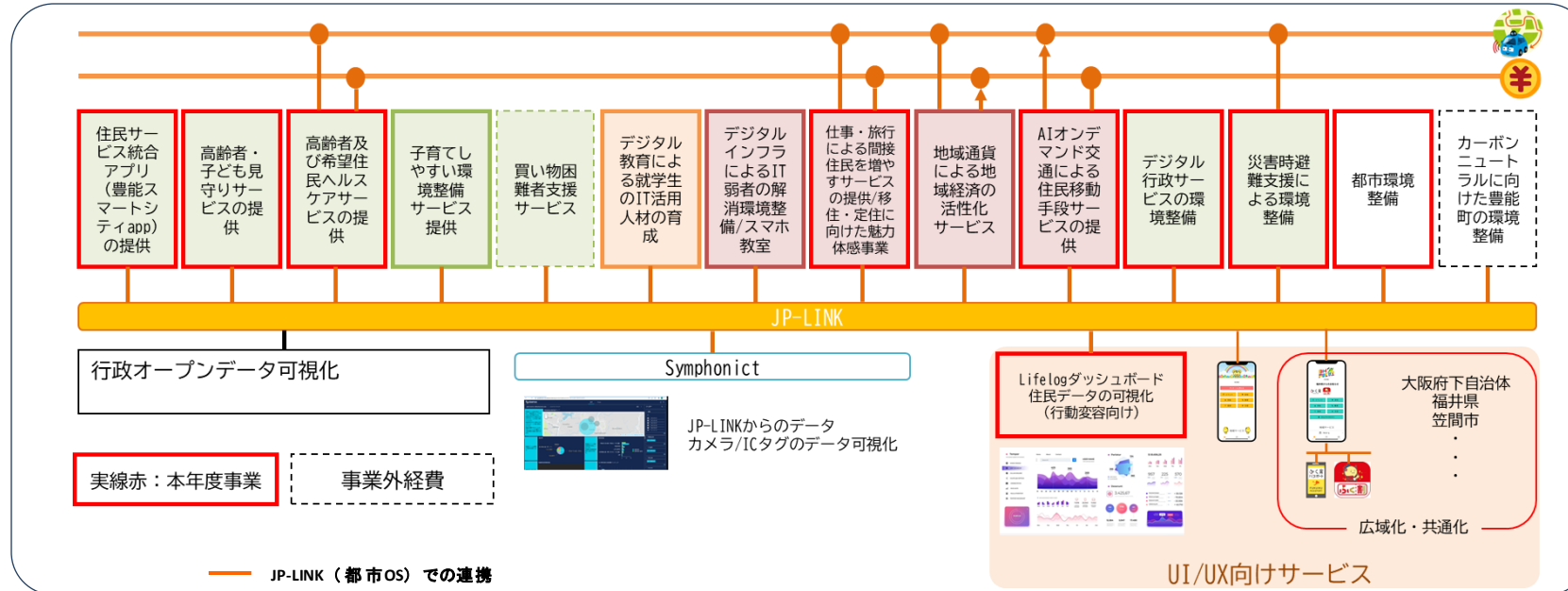
あり

＜地域の抱える課題＞

- ・地域経済循環率38.2%で大阪最下位レベルである。
- ・高齢者含めてキャッシュレスに不安を抱えている。

＜サービスの詳細説明＞

- ・キャッシュレス促進し地域商店での活用します。
- ・ヘルスケアやウォーキングポイント、清掃ポイントなど住民の行動変容に向け活用します。



セキュリティはR4年7月協議会内にセキュリティ委員会を立ち上げ、スマートシティセキュリティガイドラインに合わせて運用を行います。  
 (R3年度は各社からの申告をベースに運用) (詳細次頁)

### D)ダッシュボード（詳細次頁）

＜都市OSとの連携＞ あり

＜地域の抱える課題＞ 住民の行動変容の可視化を把握し辛い。

＜サービスの詳細説明＞

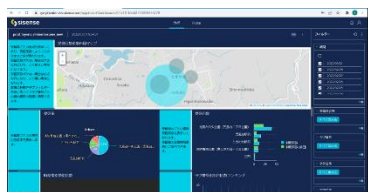
- ・ダッシュボードで住民のデータを可視化します。（住民が自分の状態を把握）

## ■ 活用するデータとサービス

### 【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組

各ステークホルダーがデータを活用する環境を構築することで、地域、個人、企業の課題を迅速に解決環境の整備

#### R3 Symphonict BIツール



R3年度はBIツールにてアセットの可視化のみ

ICタグやカメラデータをSymphonictで可視化するBIツールを配備済み。

BIツールのデータを含めて企業やスマートシティサービス利用者でデータ活用を推進します。

(現在、豊能町役場のみ利用可能な状態)

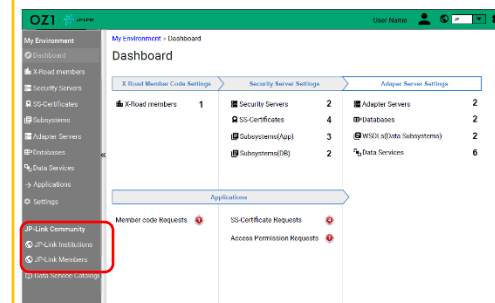
#### (新) 住民向けダッシュボード



利用者が自分の状況を把握できるダッシュボードを構築し、行動変容を促します。

自治体スマートシティアプリ（とよのんコンシェルジュ）から自分状況が確認できるようになります。  
例：運動量、移動距離、サービスの利用状況など可視化、地域ポイントの利用状況など

#### 企業向けダッシュボード



JP-LINKポータル（JP-LINKインストールコンソール）にJP-LINKコミュニティを構築し、参加企業のサービスや提供データの可視化、データ利用規約に対する許諾申請を行いデータ活用をよりスムーズに行います。

(現状)  
企業同士が相談して、どのデータを開示するか相談したうえで接続しています。



## ■ 活用するデータとサービス

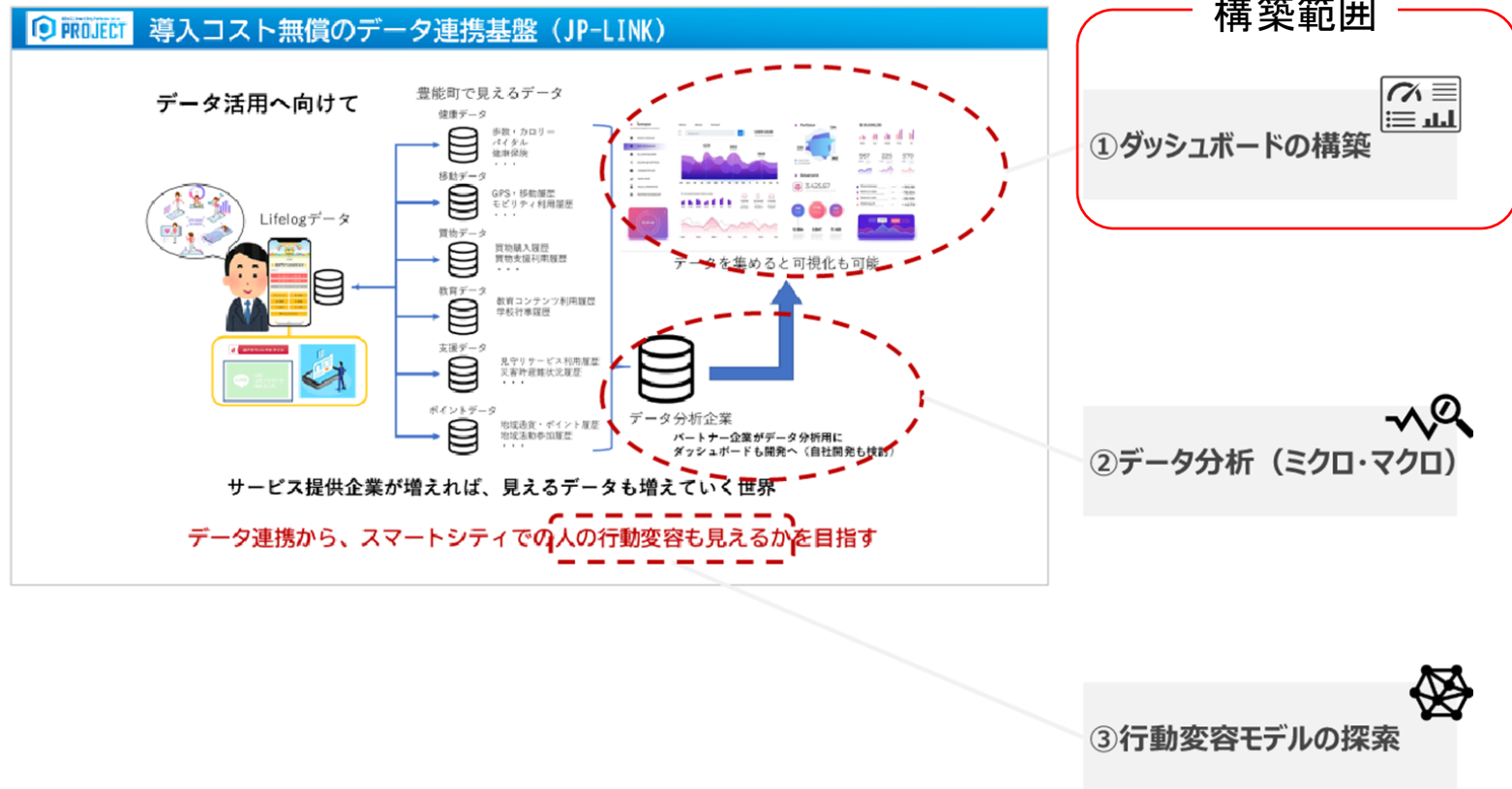
### 【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組

#### 個人向けデータダッシュボード

JP-LINKで各企業が提供しているデータベースを参照し、個人の状態を可視化します。  
可視化されたデータから利用者の行動変容に繋がるきっかけを作ります。

R4はダッシュボードをビジュアルでスマートシティに繋がるサービス利用状況を可視化します。  
(R5機能拡張（補助対象外）：AI活用して、同類比較表示など検討)

#### ■ とよのんコンシェルジュアプリから取得されるデータを同意のもと、一元化



## ■ 活用するデータとサービス

【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組

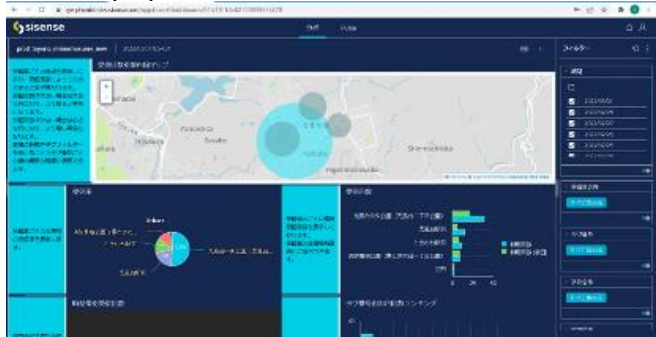
### 企業向けデータダッシュボード

R3年度にJP-LINKポータルサイトをJP-LINKインストール向けサイトとして構築し、SymphonictでIoT機器のデータの可視化を行いました。R4年度はJP-LINKポータルとSymphonictを活用し、よりデータの活用を促すための企業向けデータダッシュボードを構築します。

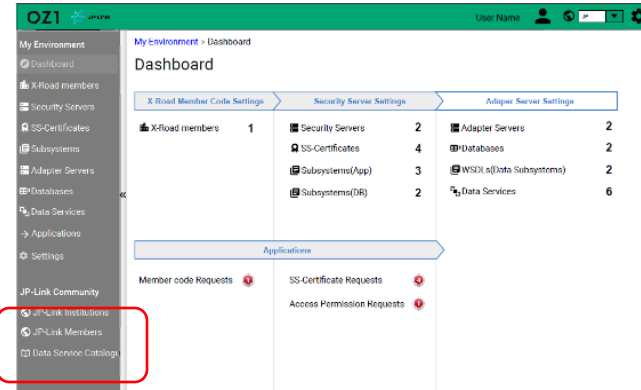
住民側は利用者個人のデータとして表示しますが、企業版では個人を特定せず（個人特定はJP-LINK内データ活用）、町全体の住民アクティビティを可視化します。

例： 65-75才でソートして、全体の歩数や平均歩数、イベント予約率、オンデマンド交通利用率などを表示し、街の活動状態を可視化し、サービス構築するきっかけやマーケティングデータとして活用できる環境を整備します。

Symphonict : ICタグ/カメラデータ



JP-LINKポータル : インストール向けサイト



会員企業が各町のスマートシティサービスにおけるデータの可視化を行います。

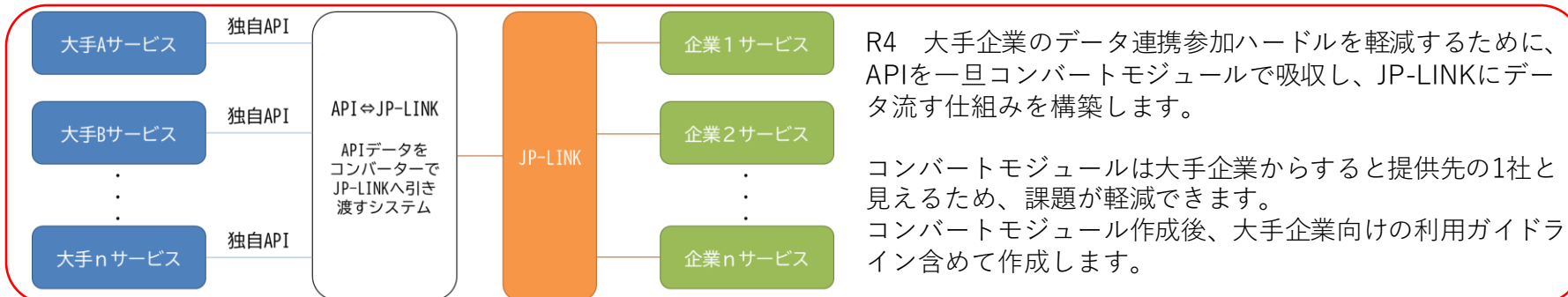
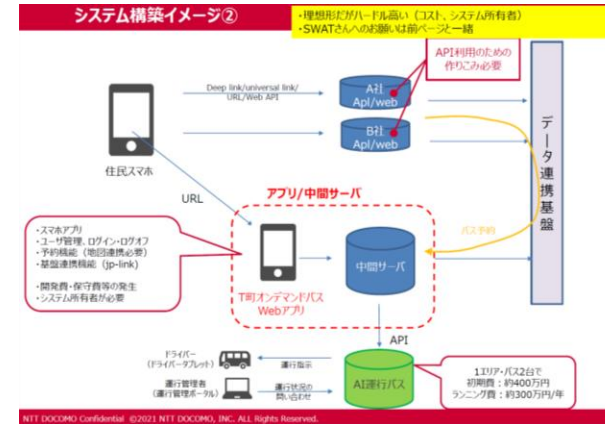
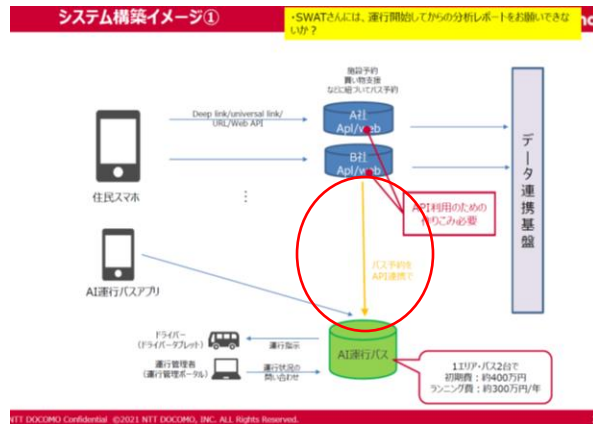
## ■ 活用するデータとサービス

### 【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（API/JP-LINKコンバートモジュール）

R3 JP-LINK（データ連携基盤）導入にあたり、大手企業の導入課題が顕在化しました。

- ・大手企業のサービスは、当初データ連携を加味しておらず独自APIを提供し、運用を行っております。そのため、技術部隊やリスク管理部門からコンプライアンスやガバナンス上の問題で、すぐにJP-LINKの導入が難しく、導入するにあたりシステム全体の見直しや検証コストが大幅にかかる状況です。
- ・また独自APIを提供すると連携先サービス会社が都度APIを構築し続ける環境となり連携先のコスト負担が大幅にあがります。

例： NTTドコモ



JP-LINKが一般化されると不要な機能になります。それまでの大手企業への処置機能です。

## ■ 活用するデータとサービス

### 【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（見守りサービス）

#### 令和3年度事業：

ICタグとカメラで見守り対象者を可視化しました。  
カメラ設置場所にICタグ受信機も合わせて特定の地域の見守り。位置情報とカメラでの状態確認が可能。

#### 【課題】

見守れる範囲が基地局を設置した地区に限定

#### 令和4年度事業：

スマホを基地局化：とよのんコンシェルジュを活用しているスマホが全て基地局になり、設備投資費をおさえつつ、見守り範囲を大幅に改善します。

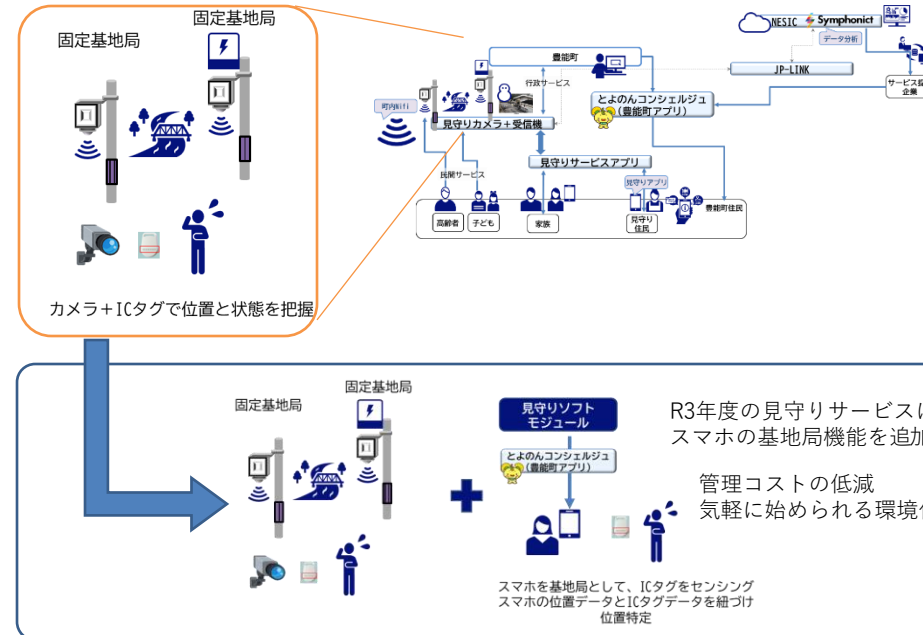
認知症による徘徊など高齢化による課題は顕在化しており、行方不明になった人を町民がボランティアで探し、見つけてくれた対象者に地域通貨・ポイントを提供できるようにします。

ICタグを持っている人をスマホで見守ります。

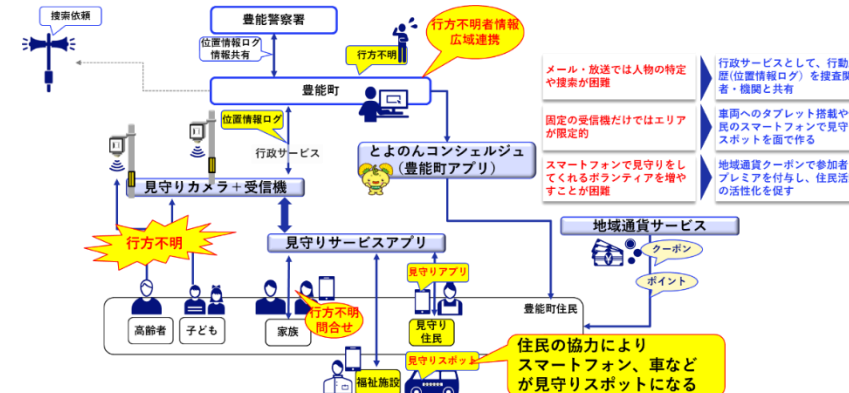
#### （補足説明）

既存の基地局はカメラと連携して、ICデータ以外に映像で状態が見えるので、相互運用で見守り対象者の状況を把握するシステムになります。

今年度、可能な限りウェアラブルのBluetoothでも測位できるか進めます。



### スマホ見守り活用例： 地域通貨と連携して住民参加で見守り



## ■ 活用するデータとサービス

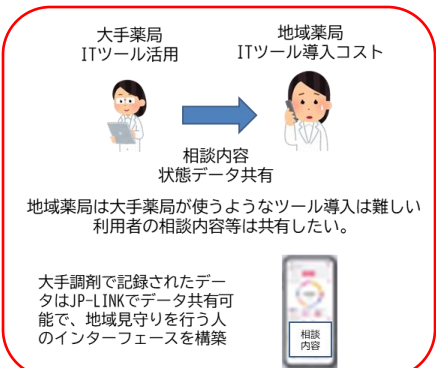
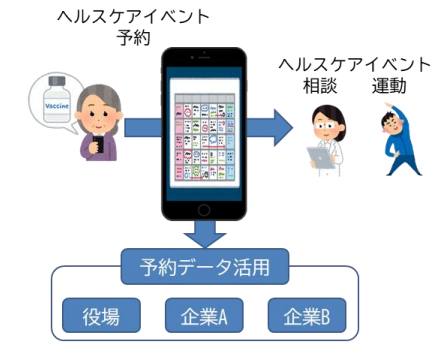
【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（ヘルスケア）

令和3年度

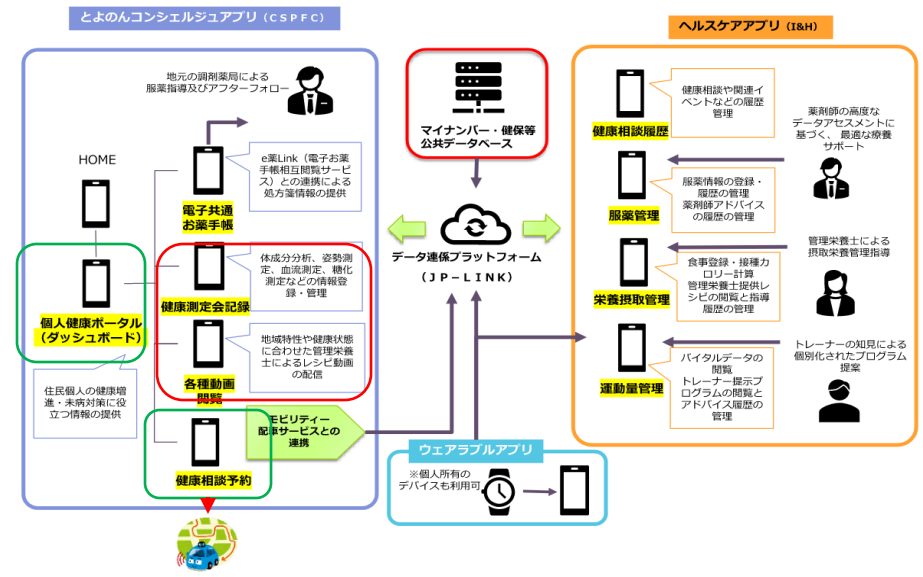
I&H（阪神調剤：予算配分はスパーク社）は地域薬局と住民の健康相談予約をアプリケーション化し、現在健康イベント予約などに活用し住民のQoL向上に努めています。

令和4年度

予約データはオンデマンド交通との連携、予約以外には健康相談/測定データの共有化を地域薬局や豊能町保険課と連携します。  
(AI活用してよりパーソナルサービスに関してはデータ収集後、来年度以降に拡充)



### デジタル活用したヘルスケア促進モデル将来像



### 予約データ共有からサービスデータの共有へ

デジタルツール導入困難な地域薬局でも健康相談後のデータをスマホで計測データや相談内容を自治体や企業と共有しツールを提供します。（JP-LINK上では共有できますが、地域薬局でデータを受け取る方法が無い問題を解決します）



## ■ 活用するデータとサービス

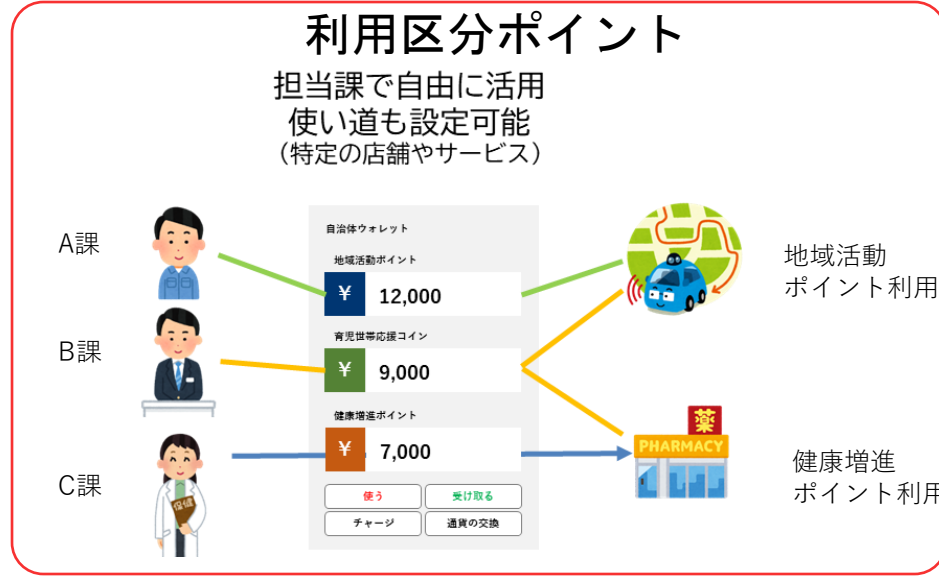
【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（地域通貨・ポイント）

令和3年度

とよのんウォレットとして構築し豊能町内の地域通貨・ポイントとして利用でき、令和4年7月からプレミアム商品券として実施します。（令和3年度はシステム配備とスマホ教室での利用者への理解習得）

令和4年度

各課から商店で使えるポイント、健康増進に使えるポイントなど利用分野の限定や使える店舗の限定を行いたいリクエストがあり、通常地域通貨・ポイントは単一利用で店舗で使うと限定されております。今回の取組としては、発行自治体が事業促進を行うため、利用区分を作成して管理ができるように構成します。（他自治体への横展開システムは対象外）



現状の自治体運営そていポイント事業の度に、アプリを開発し、ポイントを付与する、利用者は色々なポイントアプリをインストールするなど、オペレーションが自治体も利用者も煩雑な状態です。

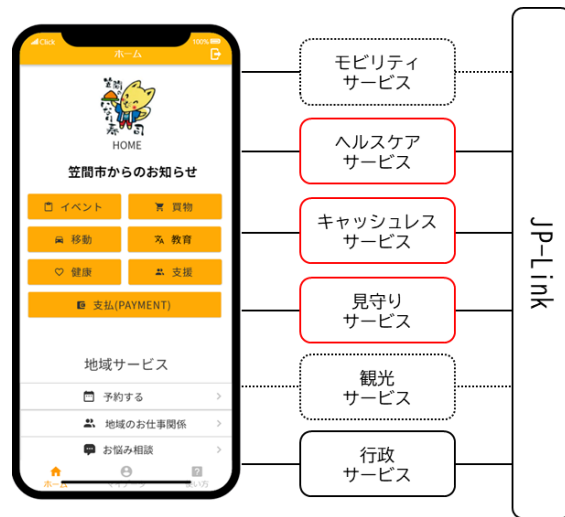
利用区分ポイントは、データ連携を活かし各課でのポイント付与を統合し、利用者の利便性の向上を行います。



## ■ 活用するデータとサービス

### 【具体的なサービス等の詳細】 横展開への取組（笠間市）

豊能町と同じ少子高齢化の課題を持つ笠間市で、豊能町で培ったサービスを展開予定です。  
また笠間市でのノウハウも豊能町と連携しサービスの向上を目指します。  
(今年度導入支援を行う費用を計上：サービスの整理、JP-LINK/UAX-LINKの導入のレクチャーや実装)



#### 想定サービス

- ヘルスケア： 健康増進を中心とした活動量データの活用  
地域薬局との見守りサービス
- キャッシュレス： 成果報酬型ポイント
- 見守りサービス： IoT見守りサービス (ICタグなど)
- 行政： オンライン市役所

モビリティ/観光は状況を見て検討

### 2. 人口減少時代における課題

**背景** 避けることができない「人口減少」と「少子化・高齢化」  
多様化・細分化を続ける「意識と生活」

**問題** 「地域での暮らし」と「地域の経済」に多くの問題が顕在化  
祭りが続かない、敬老会ができない、地域の草が刈れない、地域役員が変わらない  
ゴミが出せない、電気が交換できない、話し相手がない、頼れる人がいない  
事業を継ぐ人がいない、お客さんがいない、商品が売れない、資金がない etc

漠然とした将来への不安・閉塞感

住んでいる市民が「活力がある・感じる」まちをつくる

人（数と質） 経済（成長と循環） 基盤（安心と安全）  
交流人口、関係人口、定住人口 → 所得分配 → 支出 → 生産・流通 → 防災、防犯、医療、福祉、予防

「新たなサービスの提供と持続」と「行政サービスの範囲の拡大・複雑化による限界」という現状  
解決策として **公民連携による取組みを推進**  
キーワードは 「ダイバーシティ経営（多様な人材確保）」 「デジタル化・DX」 「経営意識」

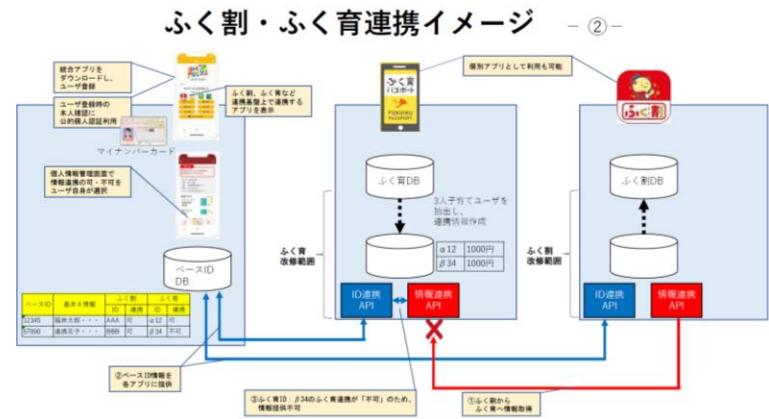
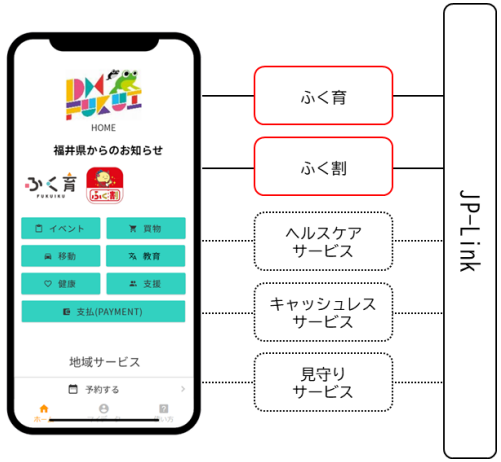
令和4年度事業 デジタル田園都市モデル形成事業



■ 活用するデータとサービス

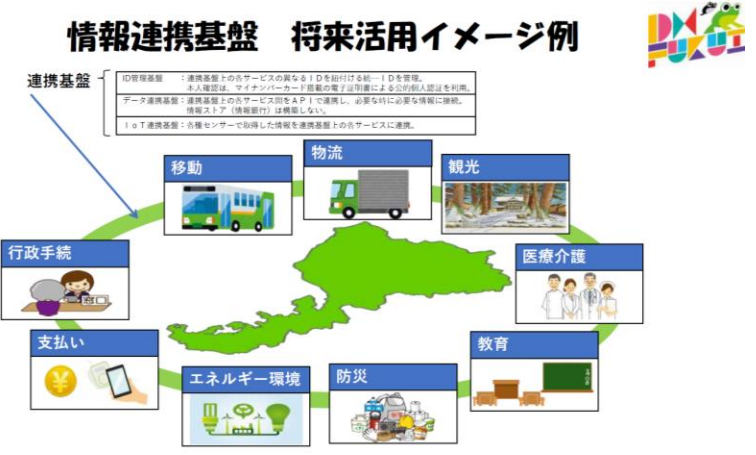
【具体的なサービス等の詳細】 横展開への取組（福井県）

福井県では既存のふく育（子育て）とふく割（割引クーポン）をJP-LINKでデータ連携を予定しており、将来的には豊能町で実装されたサービスを含めて、色々な分野のデータを連携させ地域の活性化を目指しております。  
 本年度福井県への導入を進め、希望参加自治体と連携を予定しております。  
 （今年度導入支援を行う費用を計上：サービスの整理、JP-LINK/UAX-LINKの導入のレクチャーや実装）



- 想定サービス
- ・ふく育： 子育て支援サービス
  - ・ふく割： 割引クーポン
- 2つのサービスを連携することからスタート

- 今後の想定サービス
- ・ヘルスケア： 健康増進を中心とした活動量データの活
  - ・キャッシュレス： 地域通貨を活用したサービス
  - ・見守りサービス： IoT見守りサービス（ICタグなど）



## ■ 活用するデータとサービス

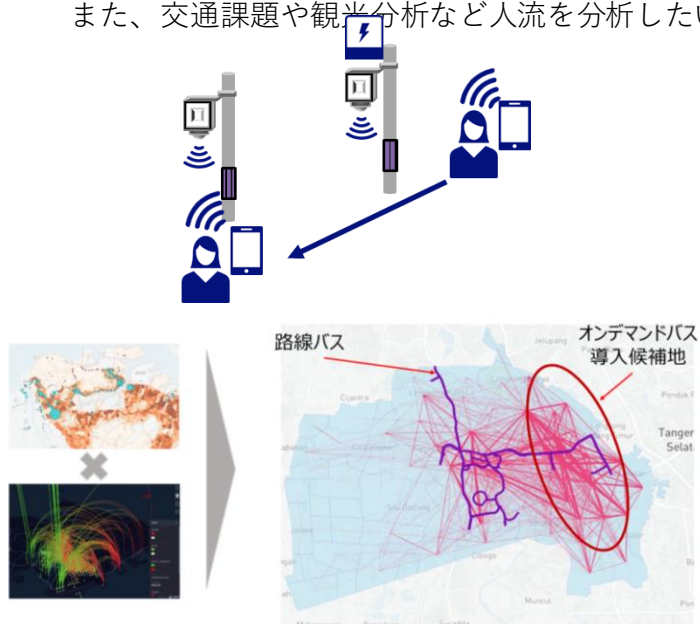
### 【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（WiFiパケット人流分析）

#### WiFiパケット人流分析：

交通分析やスマートシティサービスでの行動変容など人の動きをWiFiパケットを受信機で取ることで、住民の活動を把握します。

受信機設置個所をスマホ（WiFiがOn状態）が過ぎると、移動経路が分かります。（また個人情報保護のための匿名化）  
大阪公立大学と連携して、学生主体でデータ収集と分析を行い、データ連携基盤を介して自治体や利用企業への展開を行います。

また、交通課題や観光分析など人流を分析したい大阪府下自治体へ安価に利用できる環境の構築を行います。



WiFiパケット人流分析イメージ

スマホ保有者の大半はWiFiをOnにしたまま外出するため、多くの対象者を把握が可能

#### 通信キャリア人流サービス



NTTドコモ（Datawise）の人流分析は、dアカウント利用者のみ把握可能（個人情報保護のため、詳細データより大きな計測データのみ開示可能）

#### ICタグでの人流分析



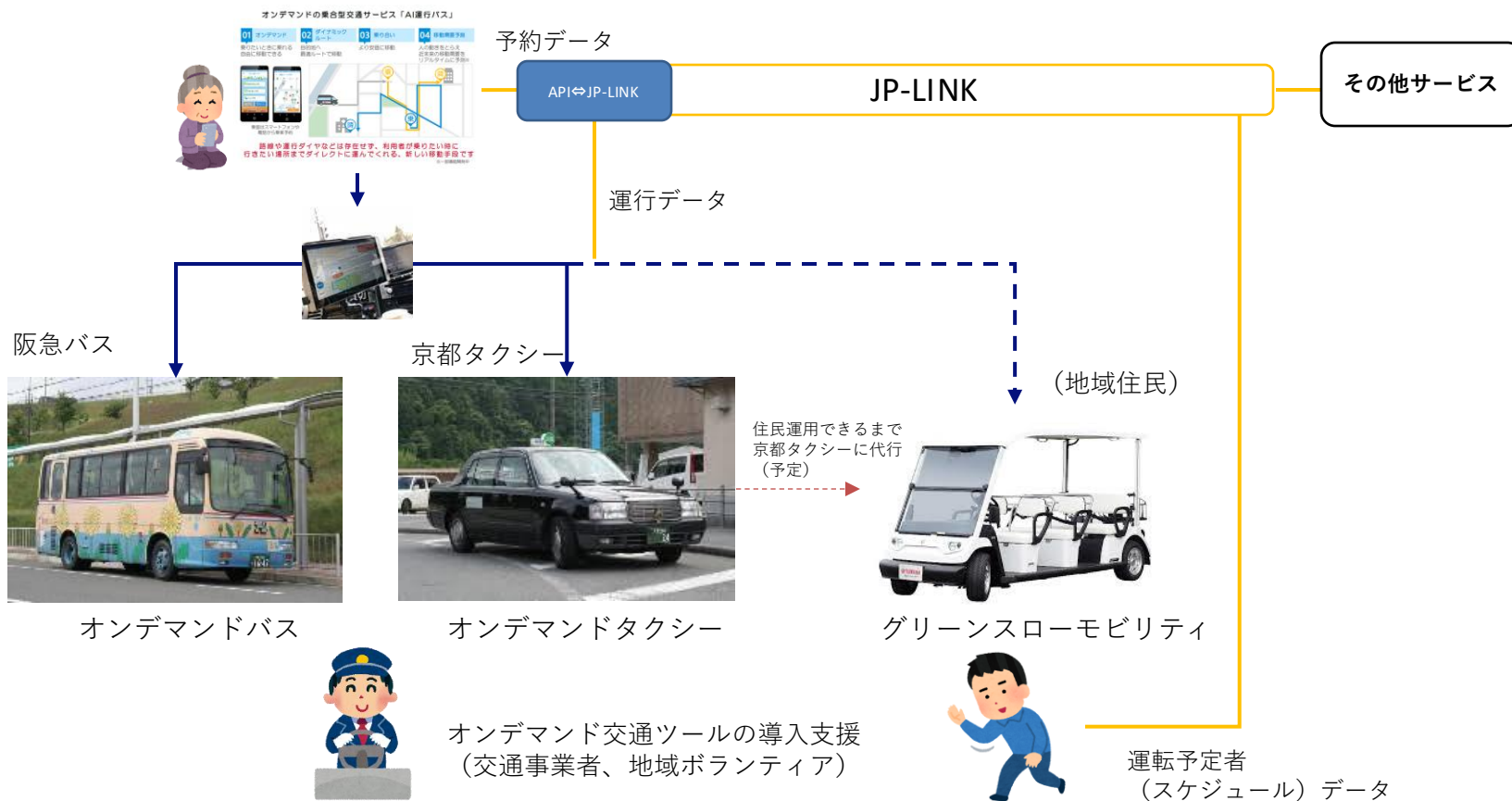
ICタグではICタグ保持者のみ、移動データを取得可能です。

#### 他人流分析ツールとの比較

## ■ 活用するデータとサービス

### 【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（オンデマンド交通/グリーンスローモビリティ）

豊能町では本年度交通課題を阪急バス、京都タクシーなどの公共交通機関と解決すべく、オンデマンド交通のツールを導入します。交通事業者は、IT知識が低く導入にハードルがあるため、導入支援を行い、導入後データ活用できる環境を整備します。  
 （本事業は、国土交通省、経済産業省に車体やツールの導入予算を申請しております。ただ採択されなくても豊能町予算で導入する予定になりますので、本事業として採択頂ければ活用に問題はございません）





## ■ 活用するデータとサービス

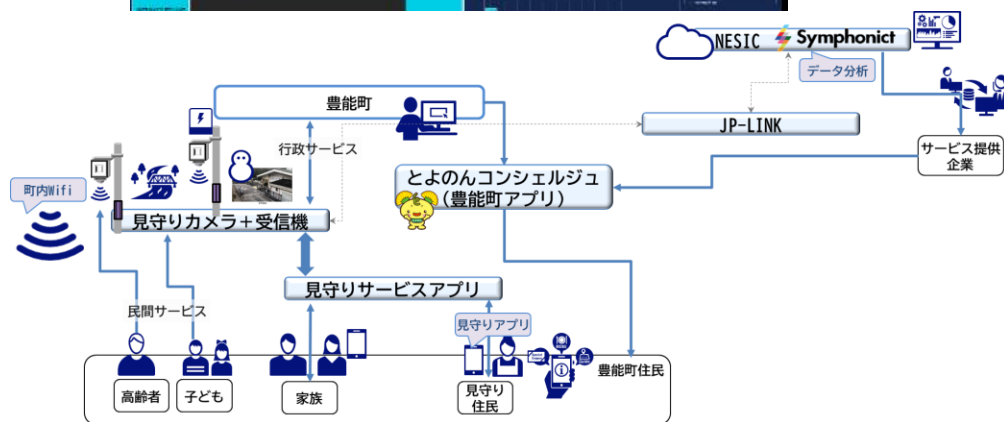
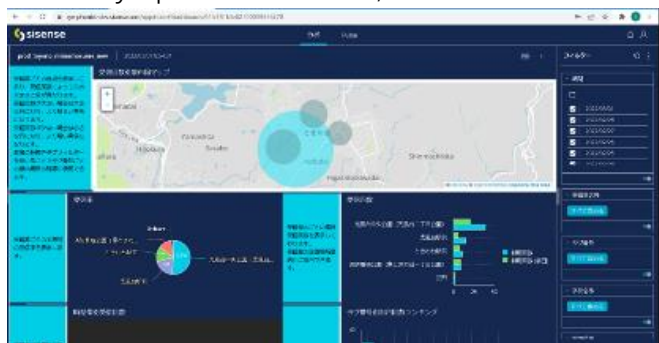
### 【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（見守りカメラのAI分析）

R3では、ICタグとカメラを活用して住民のデータをSymphonictのBIツールで可視化しました。豊能町では、何か問題がある際にBIツールから状況の確認が行えます。

R4では、データ活用や自動化を進めるためにAIでの分析を行い可視化するデータ範囲を拡張します。

(混雑状況分析、人の分類分析、異常分析などをAI化し自治体と企業での利用範囲を拡充。パブリッククラウドで構築し横展開の促進を行います。)

Symphonict : ICタグ/カメラデータ



AWSなどのクラウドAIサービスを活用

## ■ 活用するデータとサービス

### 【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（インフラ）



豊能町の道路は老朽化に伴い、破損箇所も多く役場の巡回で破損箇所の把握するなど人々が多く掛かります。ドライブレコーダーを活用し、データ分析を行い修繕計画に活用する他にデータ連携基盤を介して危険箇所は住民へ共有します。住民通知に関しては横展開可能な状況で構築します。



**①道路管理業務の工数・コスト削減**

DXによって道路管理の業務負担を低減し、コスト削減

- ・道路損傷箇所の管理業務（地図への書き込み、写真撮影等）の負担を削減
- ・市民通報を受けた際の現場確認稼働を削減
- ・修繕したい損傷箇所を、委託先事業者へ簡単に連携
- ・目視点検の一部を自動化することにより、パトロール稼働を削減

**②道路品質向上 修繕業務の最適化**

修繕すべき箇所を定量的に把握し、最適な予算配分で街をより綺麗に！

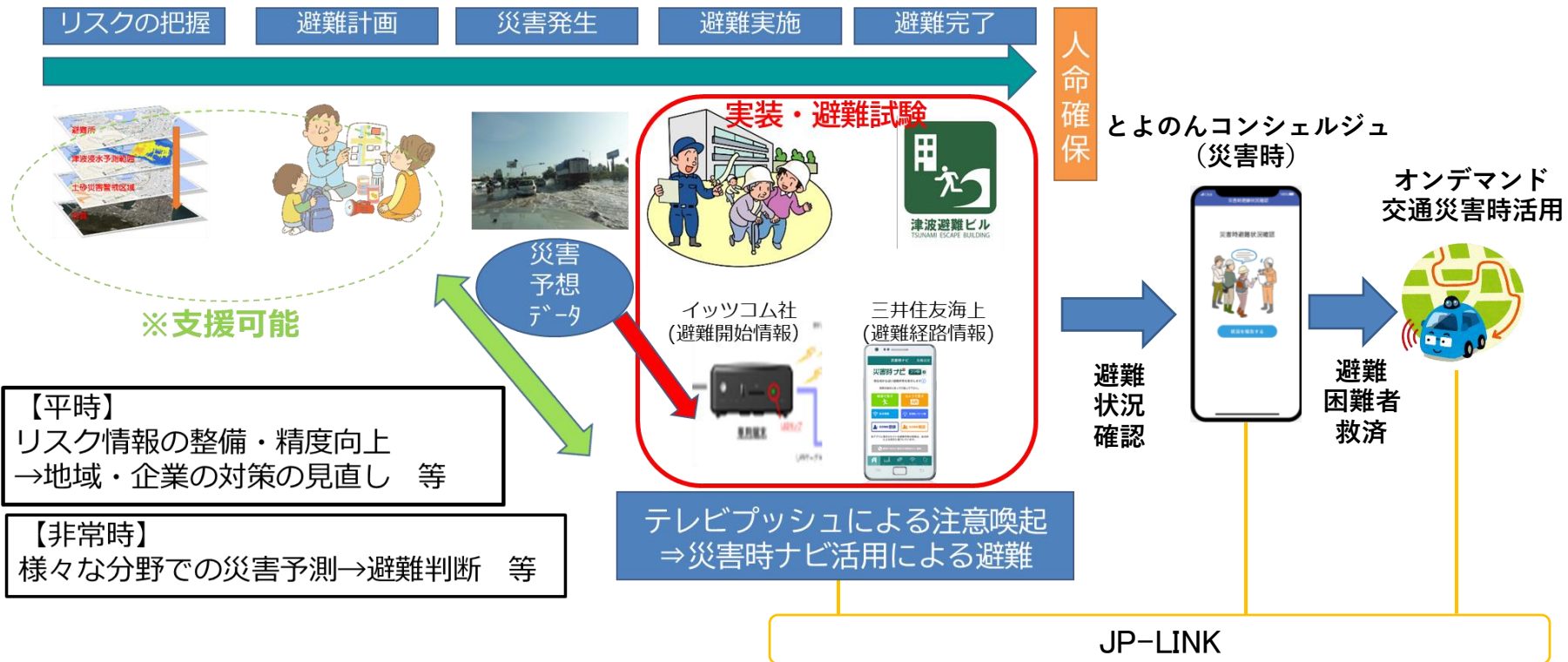
- ・過去の修繕実績に基づき路線評価ができるため、最適な修繕計画の立案が可能
- ・道路損傷に関する市民通報を受けられた際、ダッシュボード上のマップと写真を見ながら対応できるため通報場所の特定が容易に
- ・自治体様の点検水準に合わせて損傷判定の閾値を設定できるため、修繕の判断基準を統一しやすくなり、道路品質の均一化が可能



## ■ 活用するデータとサービス

【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（防災サービス）

- R3 TVプッシュと災害時ナビを導入し、防災訓練を含めて運用確認を行いました。
- R4 高齢者や介護者などのIT弱者や避難困難者に対してオンデマンド交通配備により、TVプッシュのコンテンツ改修を行い、避難困難者をTVとスマホの両方で状況を把握し、オンデマンド交通を活用して避難が行えるようにします。



## ■ 活用するデータとサービス

### 【具体的なサービス等の詳細】 データ活用を促進する取組（オンライン会計ツール勉強ツール）

子育てで離職し再雇用は難しい、ベンチャー企業は会計処理で人で不足している状況。今回作成するツールは予約系アプリの一環で、経理スクールをとよのリビングラボの2階スペースでクラウド会計ツールを学びます。使い方を覚えれば簿記2級レベルの仕事ができます。

就学場所、就学内容をデータ連携し、個人の状況に合わせて就労斡旋ができる環境をツールで構築します。

豊能町リビングラボで子育てをシェアし、会計ツールを予約で就学（個人の利用時間頻度の傾向データ）、就学内容（理解度）を経理スクールに共有し、経理スクールで状況に合わせて企業を紹介。紹介マッチングはとよのんコンシェルジュと連携するサービスです。また就学状況のデータを共有することで、ヘルスケアサービスとも連携を進めます。



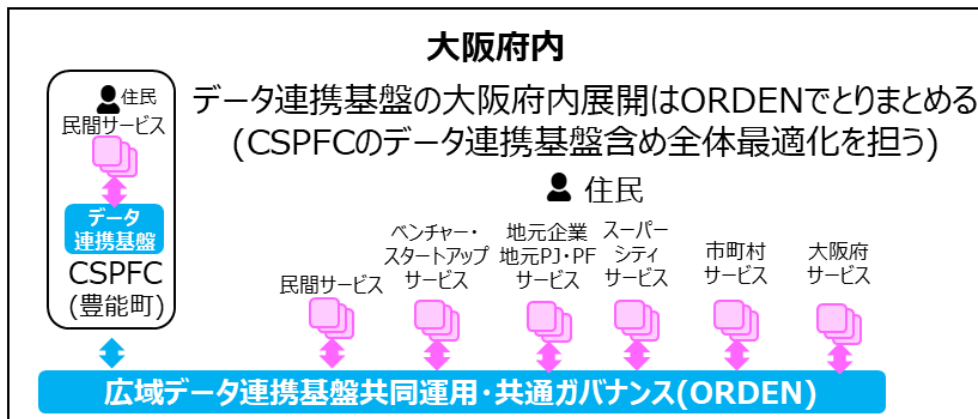
CSPFC協議会(豊能町)との連携について

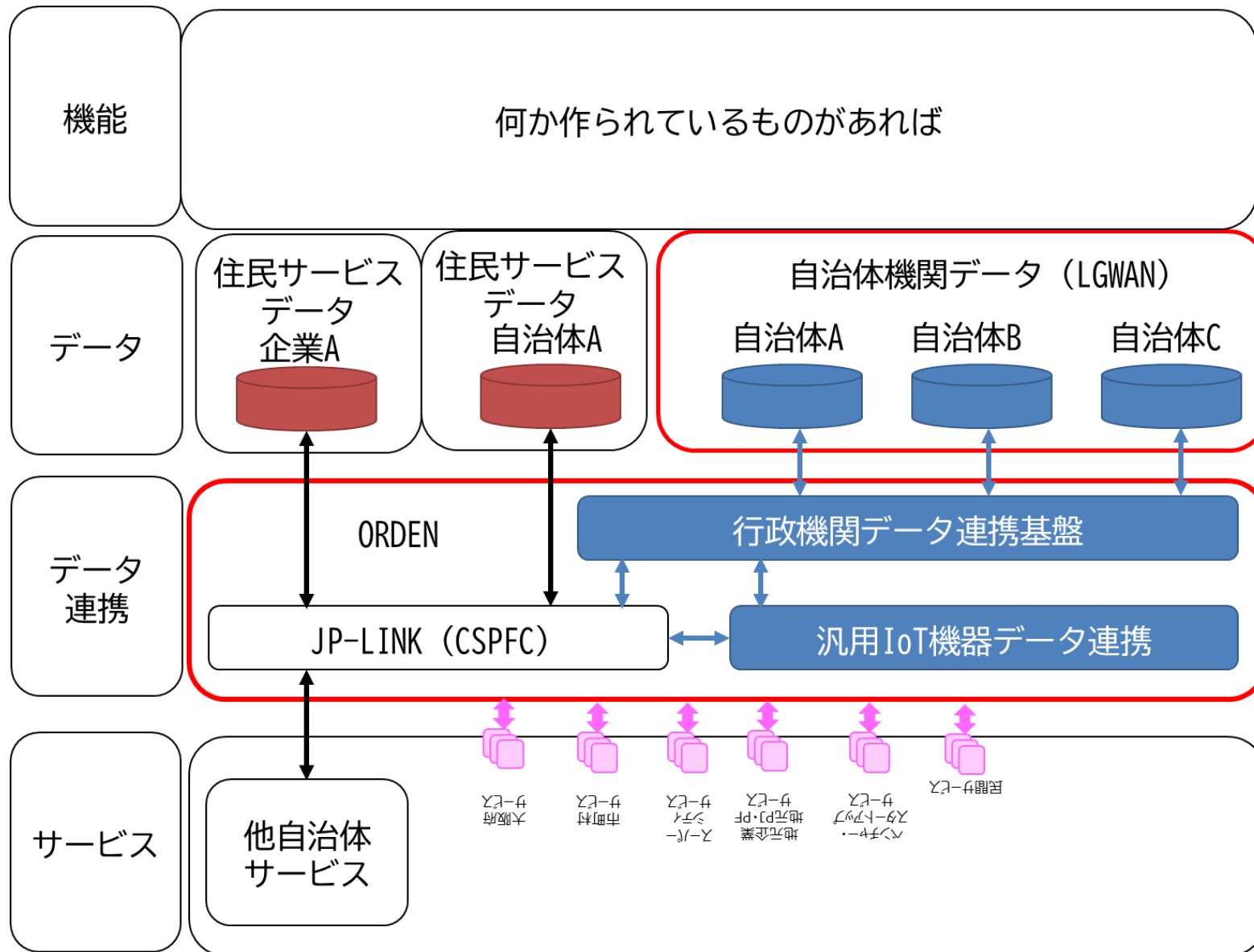
(共通11項「スケジュール」、総務省24項「構築する都市OS(データ連携基盤等)」の補足資料)

コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会は豊能町をスタートに今後、全国に展開していくモデル。大阪府は市町村共同利用用途のORDEN(広域データ連携)を整備し、大阪府市町村に展開していくモデル。よって大阪府内のデータ連携基盤の展開に関わる内容はORDENで一本化する。

	コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会 (CSPFC)	大阪府 (ORDEN)
主体	民間 (主に大企業や地域の盟主企業)	行政 (大阪府)
取組単位	全国自治体単位(点)の課題解決	府内広域(面)の地域課題解決 (府とりまとめによる市町村データ活用格差解消)
特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>無償で簡単にはじめられるスモールスタート型 PF・サービスを提供</li> <li>大企業などリーダー企業がサービス提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>広域共同利用型のデータ連携基盤を提供</li> <li>大阪府による公民共通のガバナンス</li> <li>大企業だけでなく、地元企業、ベンチャー・スタートアップによるサービス提供も目指す</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>豊能町(大阪府)で稼働。令和4年度は全国他エリアに展開</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度に立上げ</li> </ul>

大阪府内の扱い





## マルチモビリティ・マルチサービス事業/マルチMaaSプロジェクト（大阪府豊能町）

実験予算 約5,904万円  
(内 本事業負担額 約5,904万円)

### 概要

- 自動運転・オンデマンド交通・グリーンスローモビリティなどのMaaSを活用し豊能町に実装した、スマートシティサービスとの連携を行います。

### 推進体制

代表団体	一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会
参加団体	豊能町（フィールド提供・関係団体との調整） 阪急バス（実証実験の運行主体） 京都タクシー（実証実験の運行主体） OZ1（全体システム統括） NTTドコモ/SWATモビリティ（オンデマンド交通ツール提供） 関西電力/アイサンテクノロジー（車体手配）

### 地域の交通課題

- 豊能町は少子高齢化に伴い人口減少し、中山間部で坂道が多く、公共交通は年間6千万円の赤字をだし、住民アンケートで5割以上が交通状況において不満を抱えている状況です。
- 令和3年からスマートシティに取り組み色々なサービスを開始しますが、高齢化に伴い、移動手段が課題でうまく利用できず。住民アンケートでもオンデマンド交通はヘルスケアに次いで住民リクエストの高いサービスです。
- 令和4年から交通会社と豊能町、大阪府とオンデマンド交通の導入を検討しており、運転手の高齢化も進んでいるため、住民運用のグリーンスローモビリティや自動運転の活用も検討しております。色々な交通手段を色々なサービスに繋ぎ最適な運用状況の検証を行います。

### 社会実装に取り組んでいる新しいモビリティサービス

- 赤字路線バスにおいては、オンデマンド交通における赤字低減、運転手不足に自動運転・住民運行型グリーンスローモビリティの両面で公共交通の運用を進めます。利用目的にスマートシティサービスで行っているヘルスケア健康相談の対面時の移動や、買物、観光への活用、災害発生時の移動手段などに連携します。利用者は地域住民を中心に、町外住民としては「おてつたび」など地域課題解決をしてくれる人へ提供します。ビジネスモデルはこれから検証を行う中で整理します。（福井県永平寺町のように定期券を購入する動機を作りたい。）

### 選択テーマ・フィールド

テーマ	C.需要側の変容を促す仕掛け
フィールド	豊能町は人口18,777人、高齢化率40%、豊能町は西地区（住宅地で人口の8割）と東地区（農家の多い地区）に分かれ、間に箕面市を通り移動になる分裂した町です。昭和40年代に山を切り開いた町で、坂道が非常に多く高齢化のなかで移動が非常に不便な状況です。結婚や子育てを期に若者が流出する状況で、500人/年で人口減少しております。交通は阪急バスと京都タクシーのみで、タクシーは高齢化も進み4台で運営しています。予約しても待ち時間も30分以上と長いケースも多くあります。

### 実証実験概要

- #### 検証手続・実証実験内容
- 検証課題
    - オンデマンド交通での公共交通赤字の改善
    - マルチモビリティ（自動運転/グリスロなど）を活用し運転手不足の解消
    - データ連携基盤を活用し交通手段の連携/スマートシティサービスとの連携をし住民QoLの向上
  - 実証実験のステップ
    - 人流分析、交通分析を行い、移動ニーズの可視化
    - 最適な交通手段と配備台数の検討
    - 実際に配備した際の住民アンケートと人流・交通分析で  
利用者の行動変容の確認
    - 収益モデルの再整理





【全体評価項目】

新たな交通サービスで安心して暮らせるまちへ ~交通がまちの未来を変える~

現状	課題	あるべき姿
<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化の進行</li> <li>地域コミュニティの希薄化</li> <li>日常の買い物や通院など、自家用車への依存度が高い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>少子高齢化に対応した暮らしやすさを実現する交通網の整備</li> <li>交通弱者の移動手段の確保</li> <li>共働きによる家族の送迎の負担軽減</li> <li>地域コミュニティの場の参加促進</li> <li>交通と商業施設の連携</li> </ul>	<p><b>整備方針</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幹線型バス路線(広域型)</li> <li>光風台駅及びときわ台駅と千里中央駅を接続</li> <li>フィーダー型バス路線</li> <li>AIオンデマンド交通を主体とした効率的な交通網</li> </ul> <p><b>効果</b></p> <p>【住民】生活上の移動手段を確保し続けることが可能となり、外出の機会や自由度が獲得できることから、生活の質そのものが向上する。</p> <p>【行政】戦略的に効率的な交通網を構築していくことにより、まちの活性化や住民満足度の向上につながる。</p>

さらなる交通需要増大の仕掛け

- 次世代モビリティによる移動でまちづくりへのインパクトをつくる
- AIオンデマンド交通を導入したハブ&スポーク型の地域公共交通体系へ転換し、効率的な運行ネットワークを形成する

● 令和6年度実装導入を目指し、検討中。  
● これを実現するため、

- 令和4年度と令和5年度に国費、府費などを活用した実証実験の検討。
- 令和4年6月目標に、地域公共交通活性化再生法の協議会<sup>※1</sup>と道路運送法の地域公共交通協議会<sup>※2</sup>を立上げ、地域公共交通計画<sup>※3</sup>の策定と地域の合意形成を目指す。  
※1：法定協議会、※2：地交協議会、※3：再計画案という。
- 実装運行時の運行補助(国費)の活用も検討。

<実装導入へのスケジュール>

	R3(2021)			R4(2022)				R5(2023)				R6	
	1	2	3	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
AIオンデマンド導入							実証①					実証②	実装
法定協議会等													
法定協議会と地交協議会 立上げ													
再計画策定													

<実証実験へのスケジュール>

実施① (2か月程度)	実施② (6か月程度)
<ul style="list-style-type: none"> <li>実証計画(素案)、機材費用(利用促進項含む)</li> <li>国プロ(車相談)</li> <li>TAXI、地元、隣接市可調整</li> <li>実証計画(詳細)</li> <li>TAXI、地元など調整</li> <li>協議会設置 OR 事業連携協定</li> <li>補助金申請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備(線の見直し)</li> <li>実証②</li> </ul>

今後、「法定協議会」を立上げ、地域公共交通計画策定のなかで検討していくこととなるが、現時点の地域公共交通に対する考え方は以下のとおり

<地域公共交通の方向性>

- 豊能町では、高齢化と人口流出が続いている。高齢者の移動の確保と合せ、街の再生と導入促進を図る観点から新たな交通モードの導入が必要と考えている。(※朝夕の都心への通勤対応は路線バスを想定)

<運行エリア(案)>

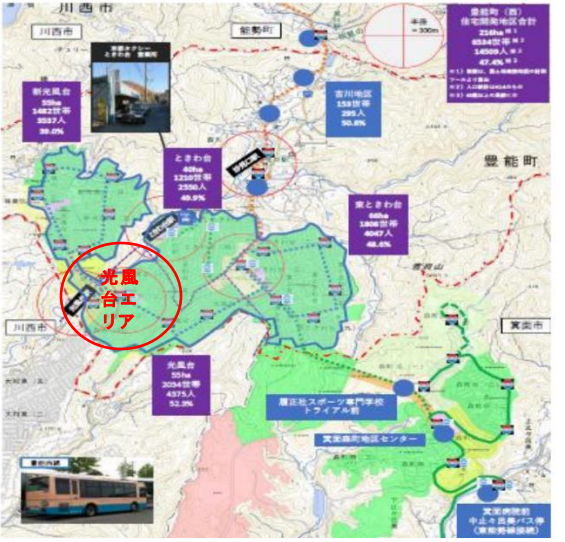
- 川西市黒川地区⇔豊能町 妙見口駅、西地区の住宅開発エリア⇔箕面森町、箕面病院

<期待する機能>

- 住宅地エリア内(生活圏)移動の充実(買い物や通院がしやすい、役場・公共施設へ行きやすい)
- 能勢電接続・阪急バス東能勢線接続が便利(時間待ちなし)
- 箕面森町、箕面病院へのアクセスの充実
- 妙見口付近の行楽利用(来街者の増加)

<実装後の収益性確保等>

- 導入検討にあたっては、導入後の**利便促進・収益性確保**(※1次項参照)などについて、運行事業者との検討が必要。



- AIオンデマンド交通の運行そのものだけでは、利用者の増加や収益性の確保が困難。
- AIオンデマンド交通の専用アプリを使用するといった特性を活かし、目的地情報として地区内の施設・店舗の情報や予約サービス、お得サービスを提供し利用促進や収益性向上を図る。(⇨地域MaaSサービス)

目的地・情報	予約/お得サービス(例示)
<p><b>公約施設</b></p> <p>図書館、西公民館、ユーベルホール、健康福祉センター、シートの等</p>	<p>旅券予約</p> <p>施設利用の予約/使用料割引</p>
<p><b>スーパー・買物施設</b></p> <p>阪急OASIS ときわ台店、イズミヤ 光風台店、コープ 新光風台店</p>	<p>例) 1万円分利用(定期券含む)で500ポイントサービス</p>
<p><b>交通機関</b></p> <p>京都タクシー、東地区デマンドタクシー</p> <p>接続する路線バスの混雑状況の可視化</p>	<p>予約サービス</p> <p>コナミ混雑回避情報の提供</p>
<p><b>医療機関</b> [可保険調HPより抜粋]</p> <p>箕面病院</p> <p>【内科】</p> <p>西瀬医院、藤末クリニック、医療法人 坂本内科医院、北大阪医療生協 光風台診療所</p> <p>医療法人 まわり、ひらがクリニック、小川内科医院、井上医院、西南耳鼻咽喉科、村井眼科</p> <p>【歯科】</p> <p>永見歯科医院、おむろむろ歯科、医療法人 道和会 加藤歯科医院、池田歯科医院</p> <p>ゆかりデンタルクリニック、北川歯科医院、小原歯科クリニック、</p> <p>【整形外科】</p> <p>森井整形外科クリニック、滝沢整形外科</p> <p>【薬局】</p> <p>ファーマーオカムラ薬局光風台店、ハープ薬局、ファーマーオカムラ薬局新光風台店</p> <p>有限会社 杏杏堂 びざん薬局、ファーマーオカムラ薬局ときわ台店、としみつ薬局</p>	<p>予約サービスできることから、随時拡大</p> <p>クリニックの待合室混雑情報の提供等</p>
<p><b>その他</b></p> <p>長閑なではのAIオンデマンドの利用促進につながるサービスを期待</p>	

分析ツールとアンケート

交通分析

人流分析

豊能町がスマートシティ構築のモデル地区に！

第1回 アンケートにご協力ください

アンケートはここから

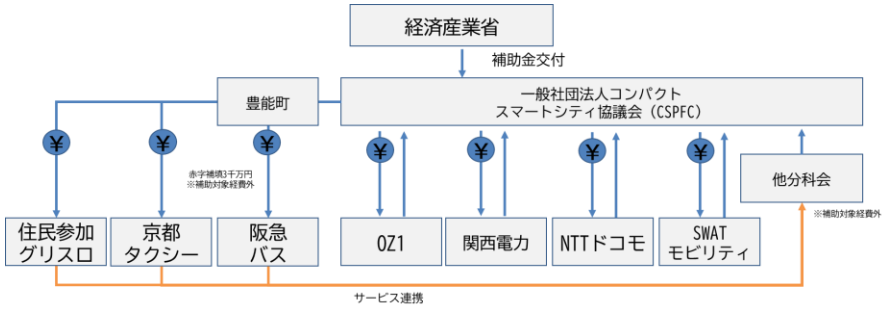


4ページ以内で記載

【重点取組評価項目】

事業面

- ・交通赤字の削減/利用者の増加
- ・住民参加によるグリスロ運行によるコスト削減
- ・スマートシティサービス連携による



体制・環境

- ・人員は既存交通を活用し、グリスロに関しては今後住民説明で調整
- ・実証実験の結果からデータ分析を行い、継続的に関係者と調整

その他

- ・可能であれば自動運転 (JapanTAXI版) を導入したい。
- ・オンデマンド交通ツールで効果が計測できれば、同じツールを活用して、自動運転車両の配備の検討します。(運転手不足への対応)

受容性・効果

- ・利用者の行動変容はスマートシティサービスと合わせてデータダッシュボード、アンケートなどを活用し分析を行います。



R3年度はBIツールにてアセットの可視化のみ



コンパクトスマートシティパーク  
豊能町コンパクトスマートシティを産官学民で構築できる環境

<p><b>学</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 廃校活用 廃校活用として国内外の企業や大学とも連携してデジタル環境の文化形成</li> <li>・ 小中一貫校 GIGAスクール環境を活用しデジタル人材育成</li> </ul> <p><b>起</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 起業・スタートアップ育成向けサインキューベション施設</li> <li>・ 大学との連携によりIT企業の促進</li> </ul> <p><b>活</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートシティサービスを地域コミュニティで体験し育てる環境</li> <li>・ 地域課題など起業家にとって必要な情報を収集できる環境</li> </ul> <p><b>交</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公園を活用して、自治体、地域住民、大学、企業のコミュニティスペースとして活用</li> </ul> <p><b>防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災スペースとして、災害時の避難などにも活用</li> </ul>		<p><b>育</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ リビングラボを活用して子育てや子育てコミュニティで「孤独感」を解消しみんなで育てる環境を構築</li> </ul> <p><b>働</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子育てで離職した親がリモートワークで就労できる環境を整備</li> </ul> <p><b>買</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域スーパーなど連携して買物支援、忙しい子育て家庭や高齢者の支援</li> </ul> <p><b>健</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大手薬局と地域薬局を連携して、住民の健康相談を行い、見守る環境</li> </ul> <p><b>移</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンデマンド交通などモビリティを活用し移動をスムーズにする環境</li> </ul>
---	--	--

JP-LINKなどをベースとしたデータ連携

コンパクトスマートシティはデータ連携基盤（JP-LINK）を活用しモビリティと様々なサービス（ヘルスケア、見守り、子育て、防災、観光、など）を連携し、住民や町外住民の利便性の改善を目指します。また地域公共交通の赤字の低減すべくAIオンデマンド交通を導入し、マルチにモビリティを活用できる環境の構築を行います。

協議会の 構成員	一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会 （豊能町、OZ1、NTTドコモ、関西電力、三井住友海上、NECネットエスアイ 含む50団体）大阪大学、大阪公立大学、Code for Osaka、大阪スマート シティパートナーズフォーラム	
地域 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 公共交通空白地帯の利便性の低さ</li> <li>● 公共交通の維持に係る財務の負担</li> <li>● 高齢化によるドライバー不足</li> <li>● 交通弱者対応             <ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢化による免許返納への対応（自家用車への依存度高）</li> <li>● 街全体が中山間部で坂が多い</li> </ul> </li> <li>● 電車で来た観光客の移動手段がない</li> <li>● 住民アンケートでの公共交通不満率50%以上</li> </ul>	
事業 概要	サービス 開始時期	2022年Q4～実証サービス開始/検証
	エリア	大阪府豊能町（西地区：光風台周辺）
	MaaS システム	（仮）豊能町スマートモビリティプラットフォーム （NTTドコモ、SWATモビリティなどオンデマンドシステムの統合化）
	交通 サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オンデマンドバス</li> <li>● オンデマンドタクシー</li> <li>● グリーンズローモビリティ</li> <li>● 電動キックボード</li> </ul>
	交通以外 のサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康相談イベントとの予約連動サービス</li> <li>● 豊能町の地域通貨による乗車料金支払</li> <li>● 防災システムとの連携（移動困難者救済）</li> <li>● おてつたび連携（観光客の送迎）</li> </ul>
事業 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種スマートシティサービスとのシームレスな連携により、町民にとって便利でQoLが向上するようなサービスを提供する</li> <li>● 移動状況の可視化・分析を可能とし、継続的な交通課題対策、及び地域活性化の取り組みをサポートする</li> <li>● 定時定路線バスのオンデマンド化によって地域交通のコスト効率化を実現する</li> </ul>	

### 取組イメージ

スマートシティ統合アプリを通じてサービスの提供

### 評価指標

- 地域イベント（健康相談イベント等）参加者のAI運行バス利用率  
 目標：2022年度末：20% 2023年度末：30% 2024年度末：40%  
 策定方法：とよのんコンシェルジュアプリからのアンケート調査  
 または参加者への紙アンケートで測定する
- AI運行バス利用満足度  
 目標：2022年度末：40% 2023年度末：50% 2024年度末：60%  
 策定方法：AI運行バスサービスを利用した人の5段階評価満足度を調査する（満点5点）  
 AI運行バスサービスを利用した後にアプリ画面でアンケート画面を表示し（もしくは紙アンケート）  
 利用者の満足度をアンケートで測定する

### 今後の方向性

- R4年度：オンデマンド交通の有用性の検証
- R5年度：交通外のサービスとの連携と行動変容の検証
- R6年度：オンデマンド交通の実装

地域住民や観光客に定期的にアンケートを取りながらPDCAを回し、費用対効果と合わせて事業化を進めていきます。

**(1) サービス開始時期**

R6年度～(R4～5年度は実証期間)

**(2) 事業エリア**

人流データや交通シミュレーションを活用したエリア設定  
例

- ・川西市黒川地区⇔豊能町妙見口駅、
- ・西地区の住宅開発エリア⇔箕面森町、箕面病院

**(3) 連携する交通手段**

路線バス、タクシー、電車

**(4) 連携する交通分野以外のサービス**

- 健康相談イベントとの予約連動サービス
- 豊能町の地域通貨による乗車料金支払
- 防災システムとの連携（移動困難者救済）
- おてつたび連携（観光客の送迎）

**(5) 提供するサービスの内容及び手段**

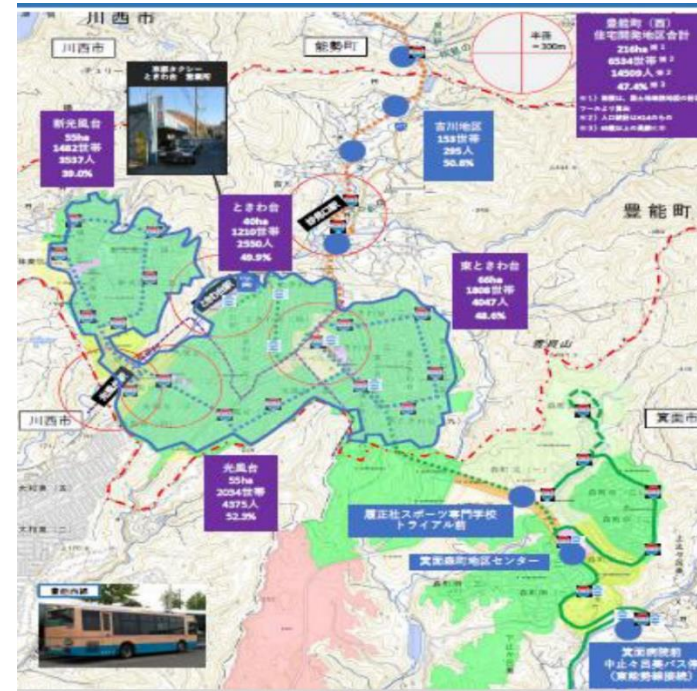
オンデマンド交通アプリの構築  
他サービスとの連携（とよのんコンシェルジュ連携）構築  
データ連携を介して「ヘルスケア」「防災」「観光」など  
シームレスに連携する環境を提供

**(6) 利用料金**

地域交通事業者と協議した上で決定する

**(7) 事業を通じて期待する行動変容**

- ・町民：
  - ①地域イベント参加率向上
  - ②スーパーや病院など施設への移動の自家用車利用率低減
  - ③免許返納率向上
- ・観光客（来訪者）：
  - ①観光スポットへの周遊性向上
  - ②来訪者のリピート率向上



**(8) 先進的な技術の導入**

- ・「人流データ」を活用した交通分析
- ・データ連携を活用し2つの交通事業者のシームレスな乗り換え（阪急バス/京都タクシーによるエリアマネージメント）

**(9) プロモーション施策**

・スマートシティアプリ/スマホ教室などでの告知

スマホ教室での利用講習会

**(10) 新聞紙面チャリ**

自動運転との連携も視野に入れ、検討中



## デジタル田園都市に向けたコンパクトスマートシティパークの構築

パークを通じて「コンパクトスマートシティ」としてデジタルを活用した街づくりを推進します。

町内外の利用者の新しいコミュニティを形成しスマートシティの体験とQoL向上に繋げていきます。

## 目標 (KPI)

サービス予約数: R4 20人→R5 100人→R6 200人  
 連携予約サービス数: R4 2件→R5 4件→R6 8件  
 利用者満足度: R4 30%→R5 40%→R6 50%

## 実行計画

R3年度に整備したスマートシティ環境を活用して、より多くの利用者に体感できる環境の整備をパークとして構築



12分野以上のサービスを都市OSで連携しデータ活用の促進と国内外含めた交流拠点の形成を行います。

## 実証内容

### 誰一人取り残されないスマートシティインターフェース実証

#### 【課題】

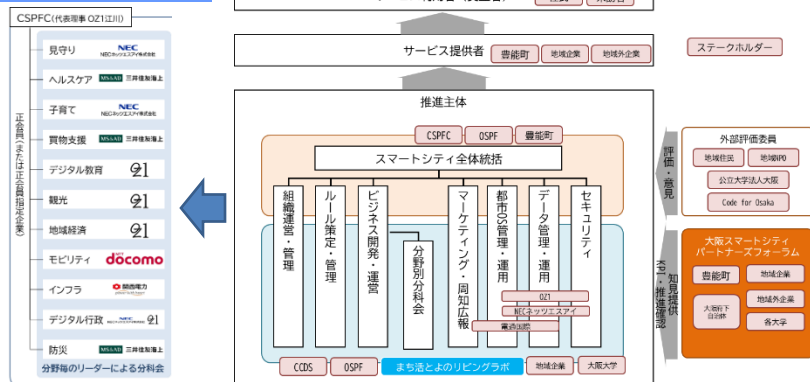
高齢者や子供、障害者など自由にスマホを使えない

#### 【解決方法】

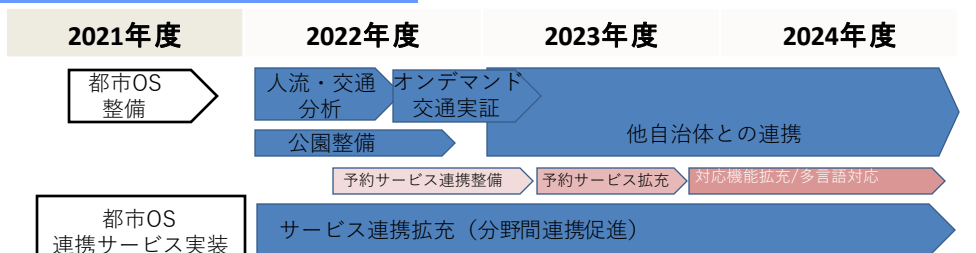
スマホ以外に電話やTVを活用してスマートシティサービスを活用できる環境の整備を進めます。まずは予約システムとオンデマンド交通をベースにヘルスケア、子育て、防災などのサービスにつな



## 体制



## スケジュール



### ■本実行計画の概要

スマホ、電話、TVでスマートシティサービスのインターフェースを改善し、データ連携を活用してシームレスなサービスを提供できる環境を検証します。本年度はAI電話を活用しスマホ、TVとの連携と実装済みサービスの連携を検証します。

(課題)

少子化に伴い、近年3校が廃校になり、活用方法が決まらない。



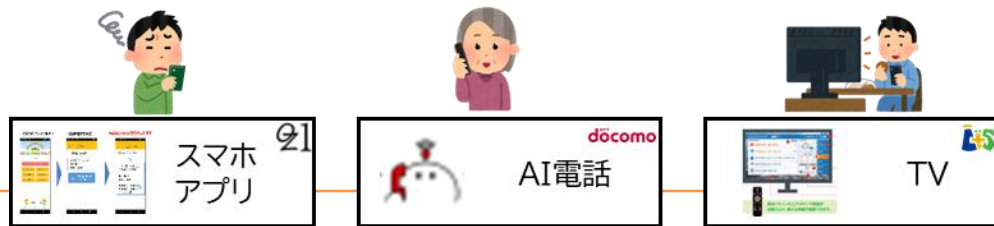
スマートシティの活用場として国内外のIT先進大学と連携やスタートアップの実証フィールドとして活用します。

(課題)

公園利用者がほぼなく、メンテナンスコストだけが掛かっている状態



町内外のコミュニティスペースや、子育て、IT系の実証フィールドとして再生を目指します。

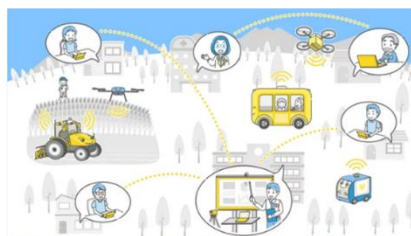


データ連携基盤を活用し予約データと交通やヘルスケアなど色々なサービスとも連携しIT弱者でもスマートシティサービスを利用できる環境の整備を進めます。豊能町では高齢化率が40%を越えスマホ教室でも予約確認だけで問い合わせが役場にも多く寄せられました。これからオンデマンド交通など始めると、予約が上手く出来ず不満を感じる住民への対応を本実証実験で検証し改善します。

### コンパクトスマートシティパーク

豊能町コンパクトスマートシティを産官学民で構築できる環境

- 学**
  - 廃校活用  
廃校活用として国内外の企業や大学とも連携してデジタル環境の文化形成
  - 小中一貫校  
GIGAスクール環境を活用しデジタル人材育成
- 起**
  - 起業・スタートアップ育成向けインキュベーション施設
  - 大学との連携によりIT企業の促進
- 活**
  - スマートシティサービスを地域コミュニティで体験し育てる環境
  - 地域課題など起業家にとって必要な情報を収集できる環境
- 交**
  - 公園を活用して、自治体、地域住民、大学、企業のコミュニティスペースとして活用
- 防**
  - 防災スペースとして、災害時の避難などにも活用

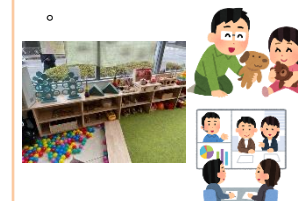


JP-LINKなどをベースとしたデータ連携

- 育**
  - リビングラボを活用して子育て支援や子育てコミュニティで「孤独感」を解消しみんなで育てる環境を構築
- 働**
  - 子育てで離職した親がリモートワークで就労できる環境を整備
- 買**
  - 地域スーパーなど連携して買物支援、忙しい子育て家庭や高齢者の支援
- 健**
  - 大手薬局と地域薬局を連携して、住民の健康相談を行い、見守る環境
- 移**
  - オンデマンド交通などモビリティを活用し移動をスムーズにする環境

(課題)

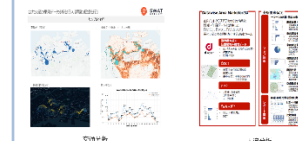
高齢化率が40%で、若者が街から流出し少子高齢化に歯止めがかからない。



若者が子育てしやすいと感じてもらえる環境整備をし、子育てコミュニティや子育てで離職した方にリモートで仕事ができる環境の整備を進めます。

(課題)

年間6千万円の交通赤字  
利用者不満率50%



産官学で人流・交通のデータ分析を行い、オンデマンド交通の実証を光風台中心からスタートします。



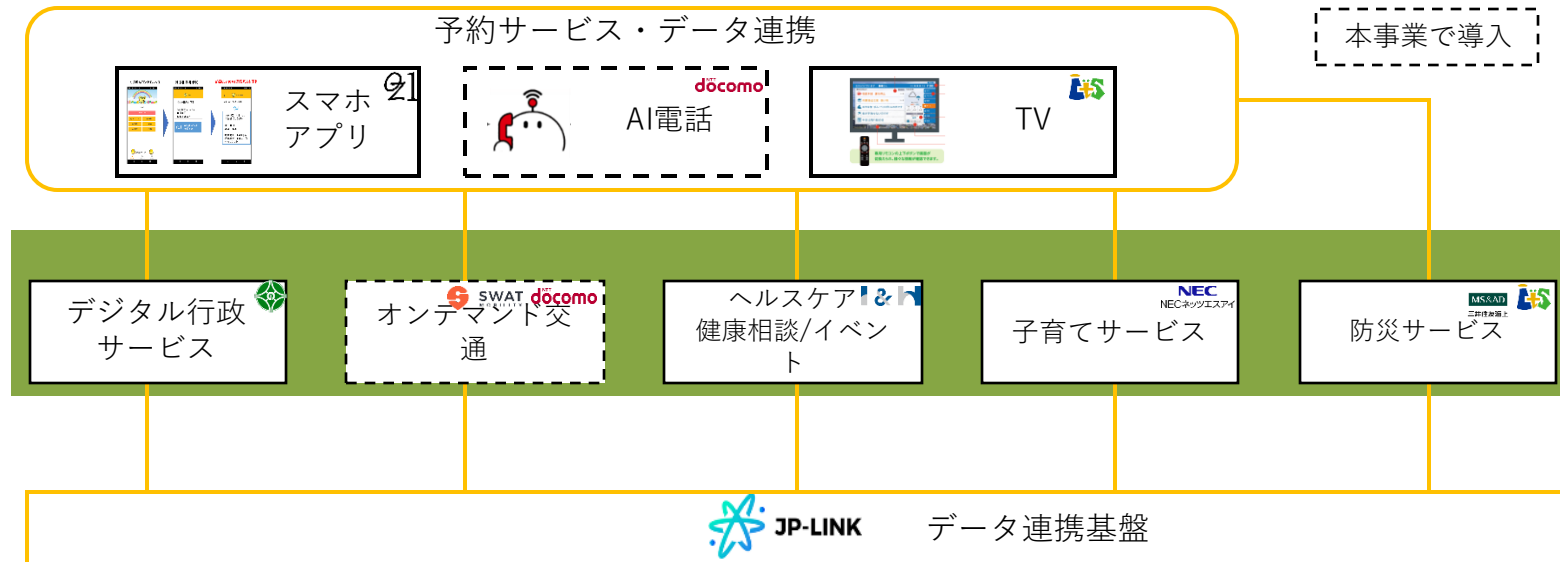


豊能町のスマートシティでは、見守り、ヘルスケア、子育て、買物支援、デジタル教育、観光、地域経済、モビリティ、デジタル行政、防災など様々なサービスを統合アプリ「とよのんコンシェルジュ」で提供を開始しました。

全ての住民のQoL向上を目指すなか、子供、高齢者、障害者など色々な人が存在し、ITを活用しきれない人が一定数です。

(実証事業の内容)

1. 本事業は、様々なサービスを「誰一人取り残されない」スマートシティサービスにするために、インターフェースの「スマホ」「電話」「TV」を活用し予約データを連携し、利便性の改善を検証します。
2. 今まで予約データや利用者の活動データは個社のデータベースに保持されていましたが、本事業で個社データベースを接続しサービスをシームレスに受けれるか検証します。



- 今回利用する各サービスは、既に商用化されたものを中心にデータ連携基盤の活用を通じて、サービスの連携を図ります。
- JP-LINKは現在豊能町のみ導入されており、実証事業でモデル化した後に、JP-LINK利用希望自治体へ展開を図ります。

健康相談イベントと連携し、ヘルスラボの予約から到着までシームレスなサービスを提供  
ヘルスケアで連携確認後、防災や観光、見守りなどへ展開

ヘルスケアとオンデマンド交通の連携イメージ

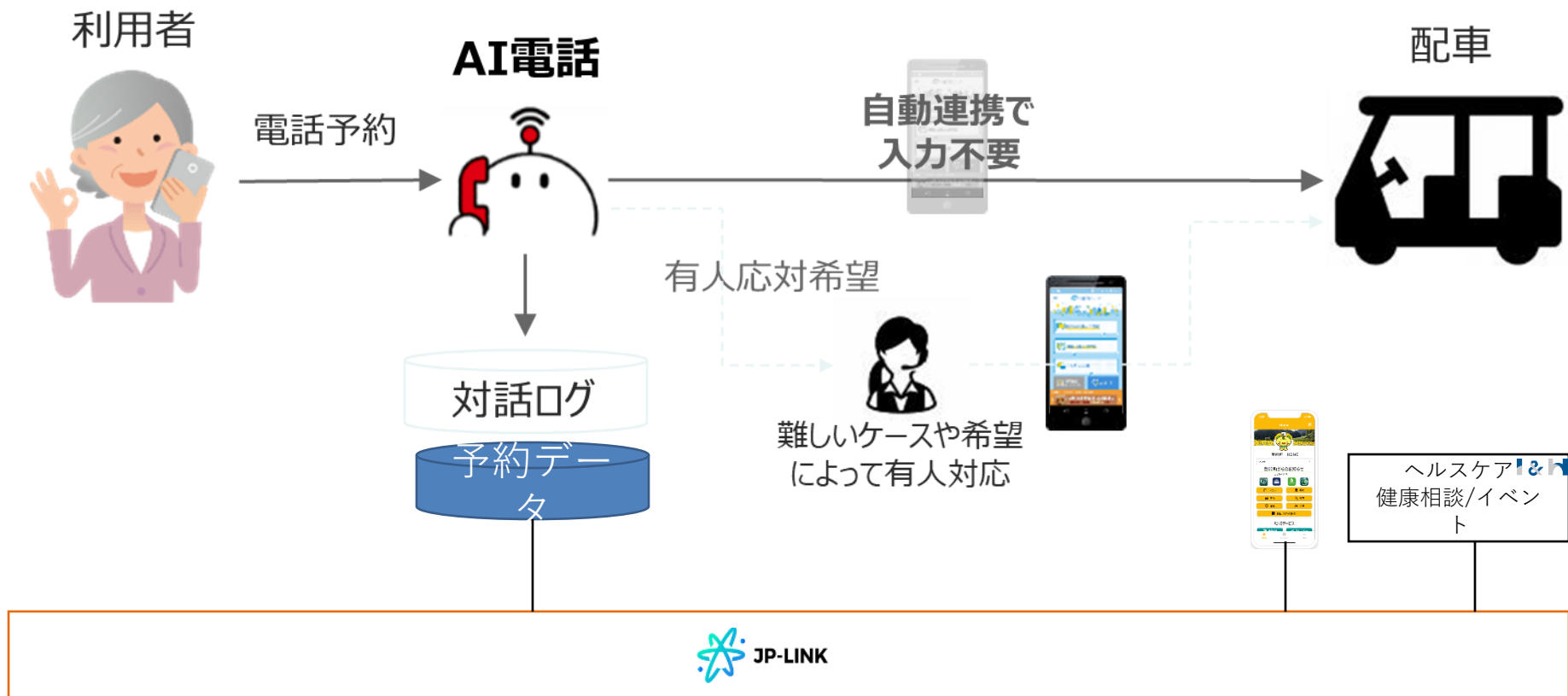


(対象分野)

交通・モビリティ	エネルギー	防災	インフラ維持管理	観光・地域活性化	健康・医療	農林水産業	環境	セキュリティ・見守り	物流	都市計画・整備	その他
○		○		○	○			○			

## AIを活用した電話対応業務による自動オンデマンドバス予約

- 時間をとられがちな電話対応業務をAIが自動化
- 独自の音声認識技術により、人間らしい**自然な発話**が可能



(対象分野)

交通・モビリティ	エネルギー	防災	インフラ維持管理	観光・地域活性化	健康・医療	農林水産業	環境	セキュリティ・見守り	物流	都市計画・整備	その他
○		○		○	○			○			

1. 見守り 見守りのサービス拡大を検討
2. ヘルスケア 定期分科会を開催、豊能町、参加メンバー間の意識合わせ、情報共有を展開
3. 子育て 原課とのヒアリング
4. 買物支援
5. デジタル教育 新年度よろづ相談室準備、義務教育課と通信環境を検討  
スマートシティ・データ利活用～ノーコードを用いた地域課題解決準備
6. 観光 おてつたび新たな取り組みの検討
7. 地域経済 7月1日デジタル商品券ローンチに向け段取り
8. モビリティ オンデマンド交通検討
9. インフラ 脱炭素に関する原課とのヒアリング、公園整備
10. デジタル行政 原課とのヒアリング 棚卸の検討
11. 防災 今年度の新たな取組検討
12. セキュリティ委員会 7月に発足予定

# 豊能定例会議



- 10：30～ 《代表理事より》
- ・ セミナー関連
  - ・ 各省庁への提案書
  - ・ TEAM EXPO 2025
  - ・ 笠間市視察報告
  - ・ 横展開ワーキング（福井、笠間）
  - ・ 分科会再編成
- 《事務局より》
- ・ チラシに関して
  - ・ 議事録の確認
  - ・ 次回現地開催は、23日（木）の予定

- 10:45～ 《分科会（30分）》
- 《各分科会進捗報告（15分）》

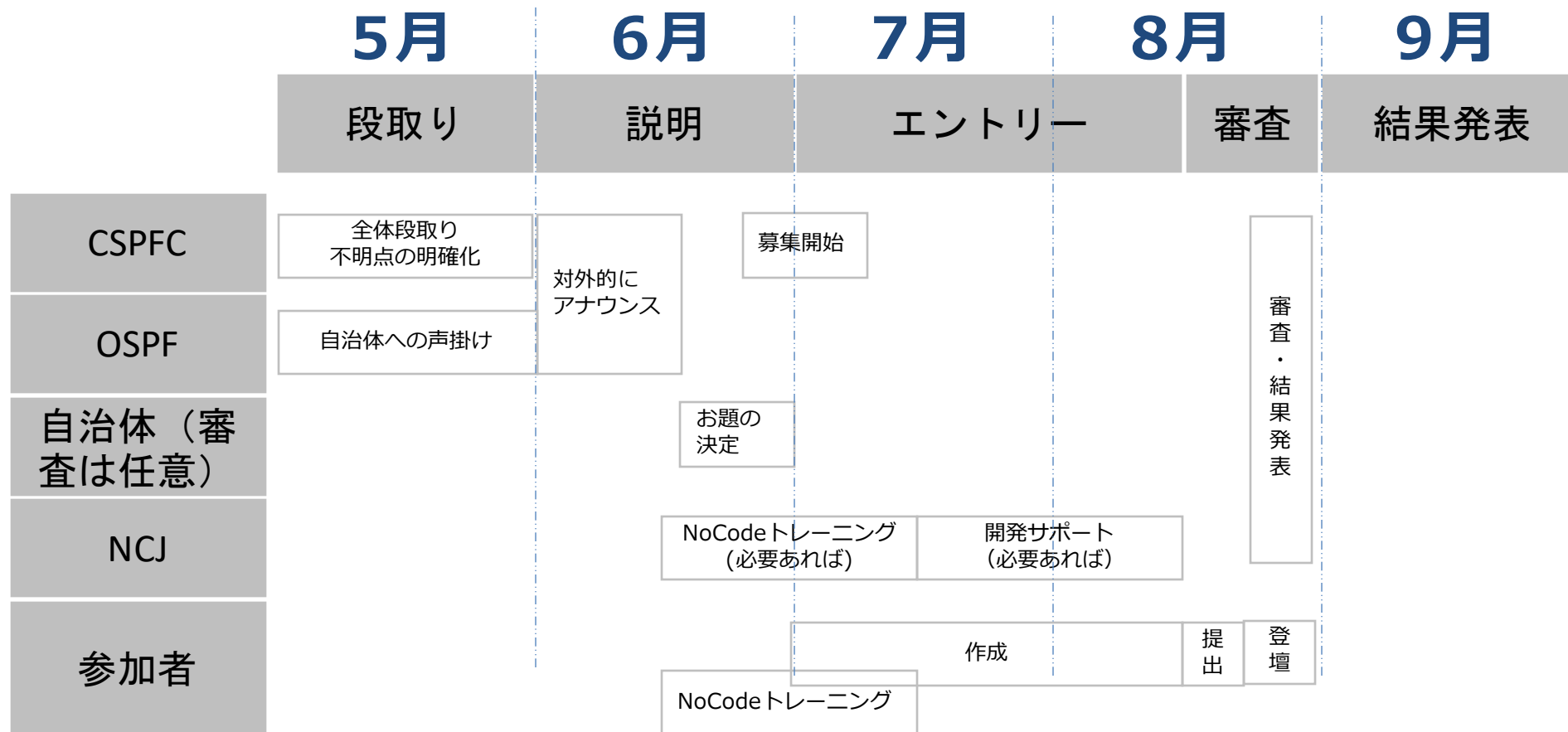
### 今後のスケジュール

- ・ 6月10日（金） セミナー開催
- ・ 8月 スマートシティ・データ利活用～ノーコードを用いた地域課題解決

# スマートシティ・データ利活用

ノーコードを用いた地域課題解決

## 全体の流れと役割



## 地域課題をみんなで解決 COMPACT SMART CITY PLATFORM

大阪の地域共通課題をNoCodeハッカソンで解決

- 健康増進、観光、清掃ボランティアなど取り組みたいが、考えるのが大変
- 予算も難しい。。。

本取組は、各課から頂いた課題を企業や学生が解決方法と解決するアプリを作成します。

- 優秀な作品は、そのまま利用も可能です。
- 豊能町で試して検証してから利用も可能です。



**対象** 大阪府内自治体職員(参加自由)

**内容** 職員の皆さんからの課題をNoCodeで解決し地域通貨を活用して住民の行動変容を促します。

**日程** 6月1~15日 自治体課題募集  
 17日 予定課題設定  
 22日 自治体・参加者向け説明会  
 7月 初旬 NoCode開発マニュアル(参加者向け)  
 ~ 意見/情報交換会  
 8月末 コンテスト会(運営・自治体職員による投票)

**会場** 現在調整中(大阪市内)

**参加形式** 参加方式は自由です。  
 1. 具体的な課題を提供  
 2. 他の自治体の課題を聞きながら補助  
 3. 発表会傍聴し興味あるサービスに投票  
 各自治体は、1票保有し優秀なサービスに票を入れることができます。

**お問い合わせ** 一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会  
[info@cspfc.info](mailto:info@cspfc.info)  
 大阪スマートシティパートナーズフォーラム  
[smartcity-partners@gbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:smartcity-partners@gbox.pref.osaka.lg.jp)

主催: 一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会  
 共催: 大阪スマートシティパートナーズフォーラム  
 大阪公立大学

協力: NoCode Japan dentsu 大阪公立大学

### 取組

住民サービスを作りたいが、入札や仕様書などの準備や予算組も大変です。そんな皆様の課題を公民共同で解決しませんか？

本取組は、自治体の課題を簡単なアプリを活用して解決を目指す取組です。

- 例えば、
- 地域住民へ健康増進でウォーキングポイントを付与する
  - 地域住民に清掃を手伝ってもらいボランティアポイントを付与する
  - 住民交流の促進したい
  - 来訪者に観光スポットを巡ってもらい観光ポイントを付与する など
- 色々なサービスを構築して、街の活性化に繋げていきます。

簡単なアプリ(NoCode)のメリット

- 一度作ったサービスを簡単にコピーして他自治体で活用できます。他の自治体で使われている良いサービスを簡単に利用できます。(地域コンシェルジュサービスに組み込まれた場合は無償利用が可能)
- サービスの修正・変更が容易  
運用で変更したい場合、利用者から意見など状況に応じて修正や変更などが容易です。

ご協力頂きたい内容

- 皆様から市町村や地域における課題を提供してください。(アプリで解決できる課題)
- 課題を参加企業や学生などと意見交換させてください。
- 企業や学生からの提案内容をご確認ください。
- 8月に開催されるコンテストで実際に使ってみたいアプリに投票をお願いします。

本取組は、令和3年度総務省のスマートシティ関連事業として大阪府豊能町で構築されたNoCodeによるアプリ開発環境、データ連携基盤、個人情報管理ツール、地域通貨・ポイントを整備しました。また、この環境は自治体に基本無償で提供するサービスになっており、豊能町の環境を幅広く多くの自治体の皆さんに活用頂き地域の課題を、公民連携で解決していきます。

### 申込

参加形式

1. 課題を提供 2. 課題を今後検討 3. 視聴 4. 投票のみ

参加予定者

自治体名 \_\_\_\_\_  
 所属 \_\_\_\_\_  
 担当者 \_\_\_\_\_  
 ご連絡先 (メール) \_\_\_\_\_  
 (電話) \_\_\_\_\_

参加形式 1~4をお選びください

提供課題 \_\_\_\_\_ 課題(自由フォーマット)

自治体・参加者向け説明会 6月22日 参加/不参加

申込はメールにてお願い致します。

申込先: [smartcity-partners@gbox.pref.osaka.lg.jp](mailto:smartcity-partners@gbox.pref.osaka.lg.jp) (OSP事務局)  
[info@cspfc.info](mailto:info@cspfc.info) (CSPFC事務局)

## 「コンパクトスマートシティ社会実装 セミナー」詳細

日時：6月10日（金）

場所：QUINT BRIDGE

時間：午後13:30～、午前中はOSPF成果報告会

概要：基調講演、コンパクトスマートシティ構想、企業説明

主催：CSPFC

共催：OSPF

後援：近畿総合通信局

※現地参加の方は、会場への名簿提出が必要な為  
応募フォームより申込をお願いします。

※登壇者の方もお手数をおかけしますが、  
応募フォームへの記入をお願いします。

## コンパクトスマートシティ 社会実装セミナーのご案内



### 開催日時

令和4年6月10日（金） 13：30～

### 場所

QUINTBRIDGE 大阪府大阪市都島区東野田町4丁目15

### 参加者

地方自治体、大学、スマートシティ関連企業 ほか 100名程度

応募方法：以下応募フォーム URL 又は QR コードから参加登録をお願い致します。

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdM18-V1ThyaPHU\\_wOC4KGgP3ov-SE-s9agp0m5rqiUoGV9A/viewform?usp=sf\\_link](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdM18-V1ThyaPHU_wOC4KGgP3ov-SE-s9agp0m5rqiUoGV9A/viewform?usp=sf_link)



### 内容（予定）※当日内容変更可能性が御座います。

開会案内	13:30	事務局	
ご挨拶	13:35	近畿総合通信局長	
	13:40	大阪スマートシティパートナーズフォーラム事務局長	
CSPFC	13:45	CSPFC 代表理事 コンパクトスマートシティの推進	
見守り	14:15	NEC ネットズエスアイ	『見守りたい住民を、地域全体で見守る仕組みづくり』
教育	14:35	とよのていねい/NoCode Japan	いつでも開ける場所『よろず相談所』/ノーコードプラットフォーム を用いた取り組み
休憩	14:55-15:00		
ヘルスケア	15:00	ビューティヘルスラボ Maria/I&H	地域に根ざしたヘルスラボ/今後の地域薬局との連携
観光	15:20	おてつたび	おてつたび・今後地域ポイントやオンデマンド交通連携
地域経済	15:40	Digital Platformer	とよのんウォレットから他自治体での共有化
モビリティ	16:00	NTT ドコモ/SWAT Mobility Japan	人流・交通分析からのオンデマンドへの模索
行政	16:20	NEC ネットズエスアイ/電通国際サービス	手続きナビ・今後電子申請/内部行政手続きのデジタル化
防災	16:40	三井住友海上火災保険・MS&AD インターリスク総研/イツツ・コミュニケーションズ	避難訓練 TVP 使った防災/今後 TV 活用した他サービスへの拡充
閉会	17:00		

### 主催・共催・後援

主催：一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会（CSPFC）

共催：大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）

後援：近畿総合通信局

## 日本青年会議所近畿地区大会 フェスタ「JCI EXPO 2022」

### ▽日時

7月3日（日） 11：00～17：00頃（出展時間）

### ▽出展者対象

共創チャレンジ参画企業・団体

- ・先端技術やイノベーティブな取り組みの体験展示
- ・万博のテーマ実現に向けた新しい取り組みの体験展示 など

### ▽参加費

無料（展示内容、追加備品等については出展者のご負担でお願いいたします）

### 参加希望企業募集：

おすすめ、NESIC（見守り）、アスコエ（行政）、おてつたび（観光）、I&H（ヘルスケア）、DP（地域通貨）



## 総務省

JP-LINKアクセス数報告： 毎月末報告お願いします。  
(総務省側もチェック入ります)

5月末分の集計です！

## 2. 人口減少時代における課題

confidential(私案)



### 背景

避けることができない「人口減少」と「少子化・高齢化」  
多様化・細分化を続ける「意識と生活」

コロナ禍により問題は  
拡大・加速

### 問題

「地域での暮らし」と「地域の経済」に多くの問題が顕在化

祭りが続かない, 敬老会ができない, 地域の草が刈れない, 地域役員が変わらない  
ゴミが出せない, 電気が交換できない, 話し相手がない, 頼れる人がいない  
事業を継ぐ人がいない, お客さんがいない, 商品が売れない, 資金がない etc

漠然とした将来への不安・閉塞感

住んでいる市民が「活力がある・感じる」まちをつくる

人（数と質）

交流人口, 関係人口, 定住人口

経済（成長と循環）

→所得分配→支出→生産還流→

基盤（安心と安全）

防災, 防犯, 医療, 福祉, 予防

「新たなサービスの提供と持続」と「行政サービスの範囲の拡大・複雑化による限界」という現状  
解決策として **公民連携による取組みを推進**

キーワードは 「ダイバーシティ経営（多様な人材確保）」 「**デジタル化・DX**」 「経営意識」

→令和4年度事業 デジタル田園都市モデル形成事業



## 4-1. 笠間市デジタル田園都市構想 モデル地区の概要

confidential(私案)



### 福原地区 (市全体)

人口	1,809人 (74,717人)
構成	14歳以下 11.17% (11.18%)
	15~64歳以下 52.79% (56.75%)
	65~74歳以下 18.85% (16.56%)
	75歳以上 17.19% (15.52%)

### 資源 (学区内)

- 医療施設 2 診療所・1 歯科医
- 福祉施設 特養 (年内開業)
- 教育施設 こども園・小中学校
- 商業施設 個人店舗
- 交通施設 駅・インターチェンジ
- その他施設 常陸国出雲大社

- ギャラリー・地域交流センター
- 郵便局・駐在所・公営住宅
- ジオパーク・ゴルフ場

### 地域特色

- 明治時代の旧村毎のコミュニティ (4 地区)
- 愛好家によるハイキングルート
- 盆地特有の里山と田園が広がる農村地域
- 幹線道路・駅周辺は石材等、宿場の歴史有





《栗》  
栗の栽培面積・生産量日本一  
栗の冷蔵庫が→



《常陸国出雲大社》

《石切山脈》  
東京駅前の石畳は稲田石



地域協力隊出身の若者が  
地元農家に就農



日本3大稲荷の一つ 《笠間稲荷神社》



## 福井県

イッツ・コミュニケーションズ  
NECネットエスアイ  
MS&AD インターリスク総研  
NTTドコモ  
SWAT Mobility Japan  
Digital Platformer  
電通国際・電通  
Nocode Japan

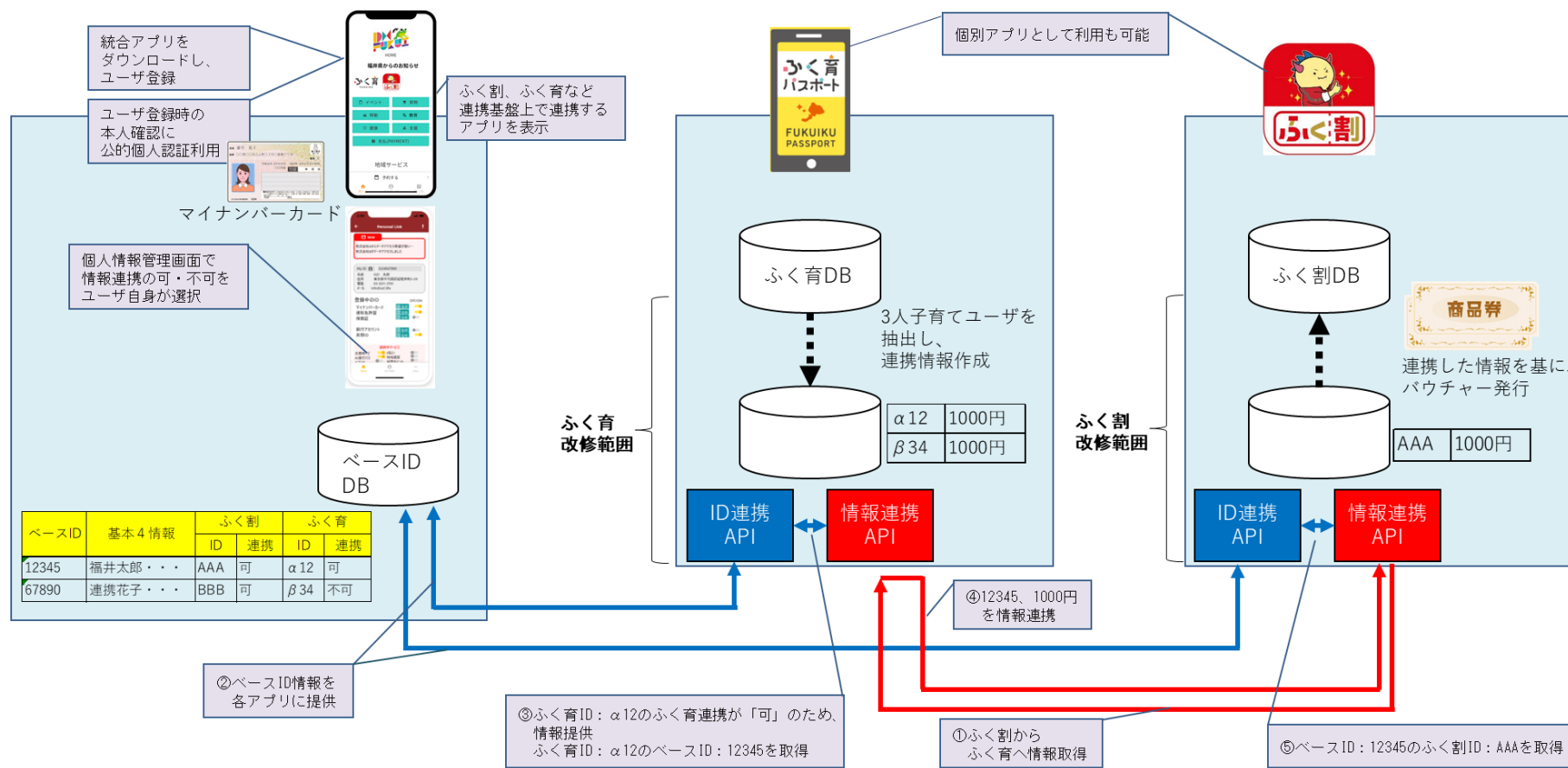
## 笠間市

イッツ・コミュニケーションズ  
NECネットエスアイ  
NTTドコモ  
MS&AD インターリスク総研  
おてつたび  
SWAT Mobility Japan  
Digital Platformer  
電通国際  
Nocode Japan  
MOVETEX

横展開するうえでもしっかり豊能町で足場を固めていきましょう。



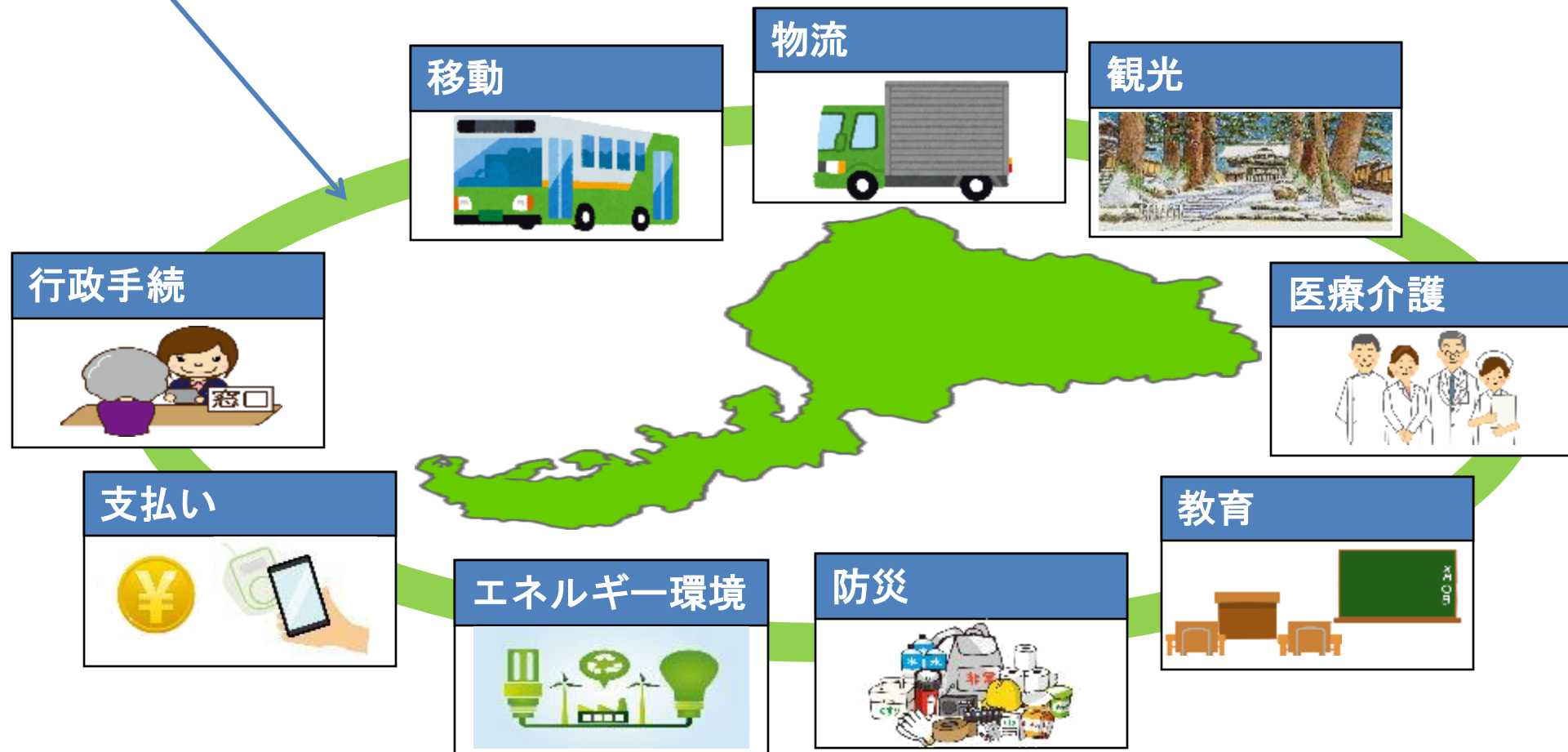
# 福井県

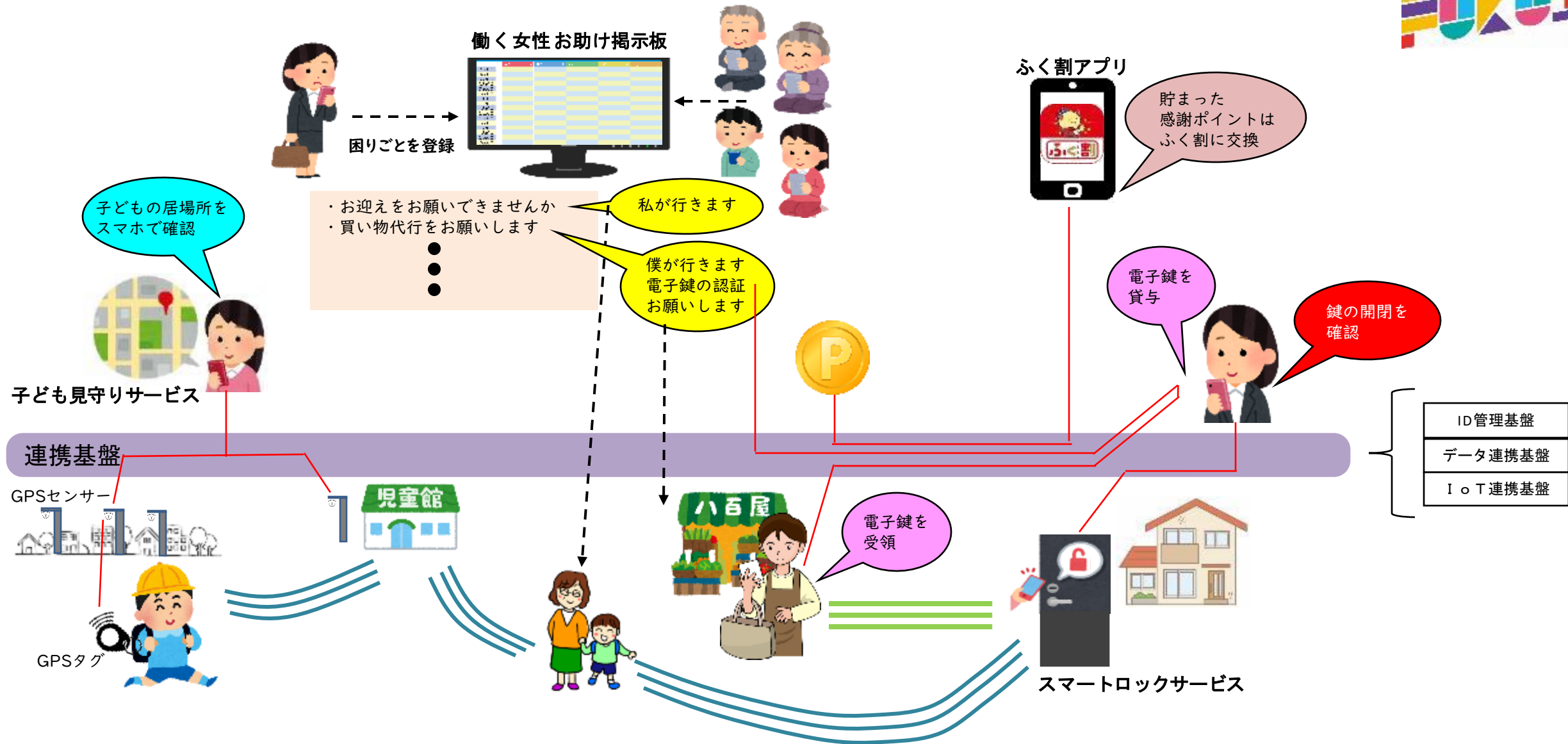


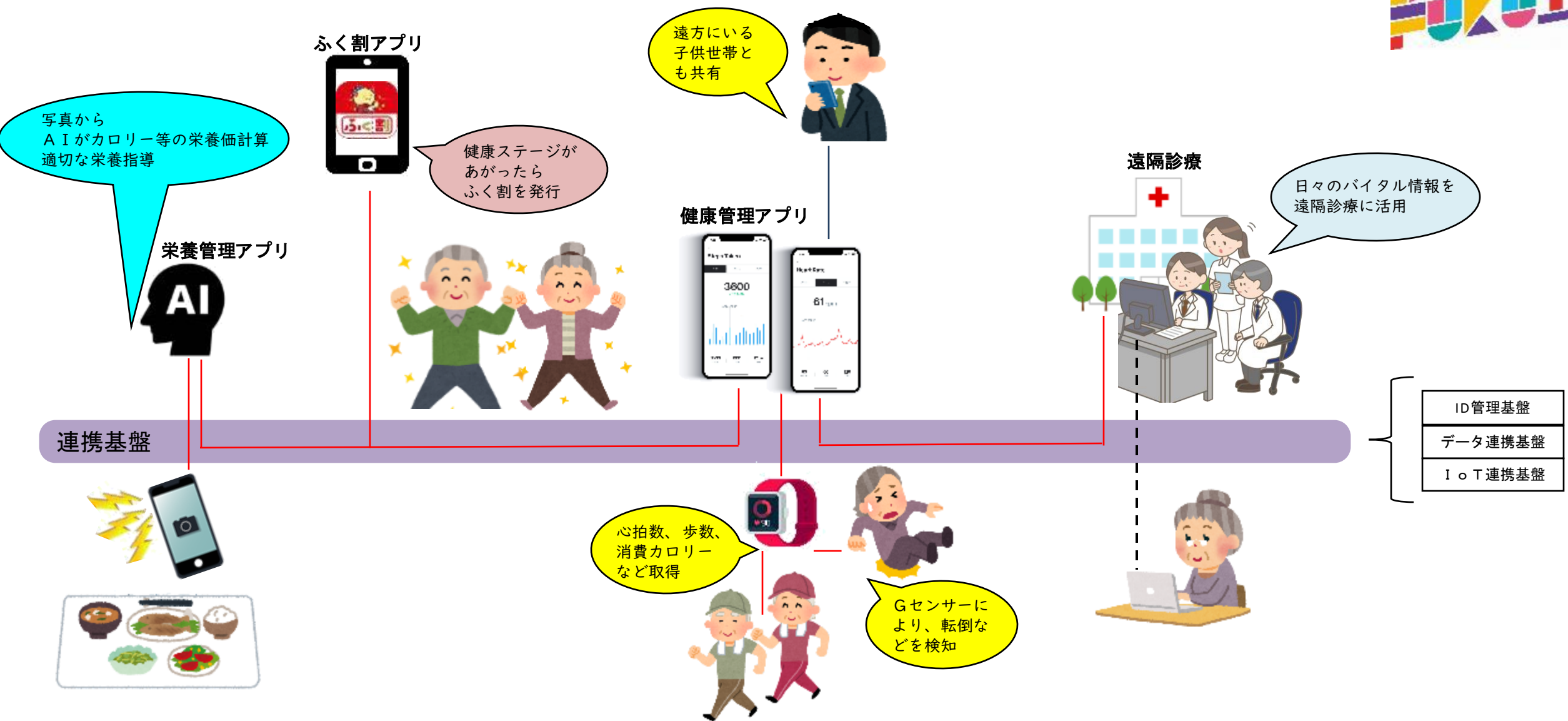


## 連携基盤

- ID管理基盤** : 連携基盤上の各サービスの異なるIDを紐付ける統一IDを管理。  
本人確認は、マイナンバーカード搭載の電子証明書による公的個人認証を利用。
- データ連携基盤** : 連携基盤上の各サービス間をAPIで連携し、必要な時に必要な情報に接続。  
情報ストア（情報銀行）は構築しない。
- I o T連携基盤** : 各種センサーで取得した情報を連携基盤上の各サービスに連携。

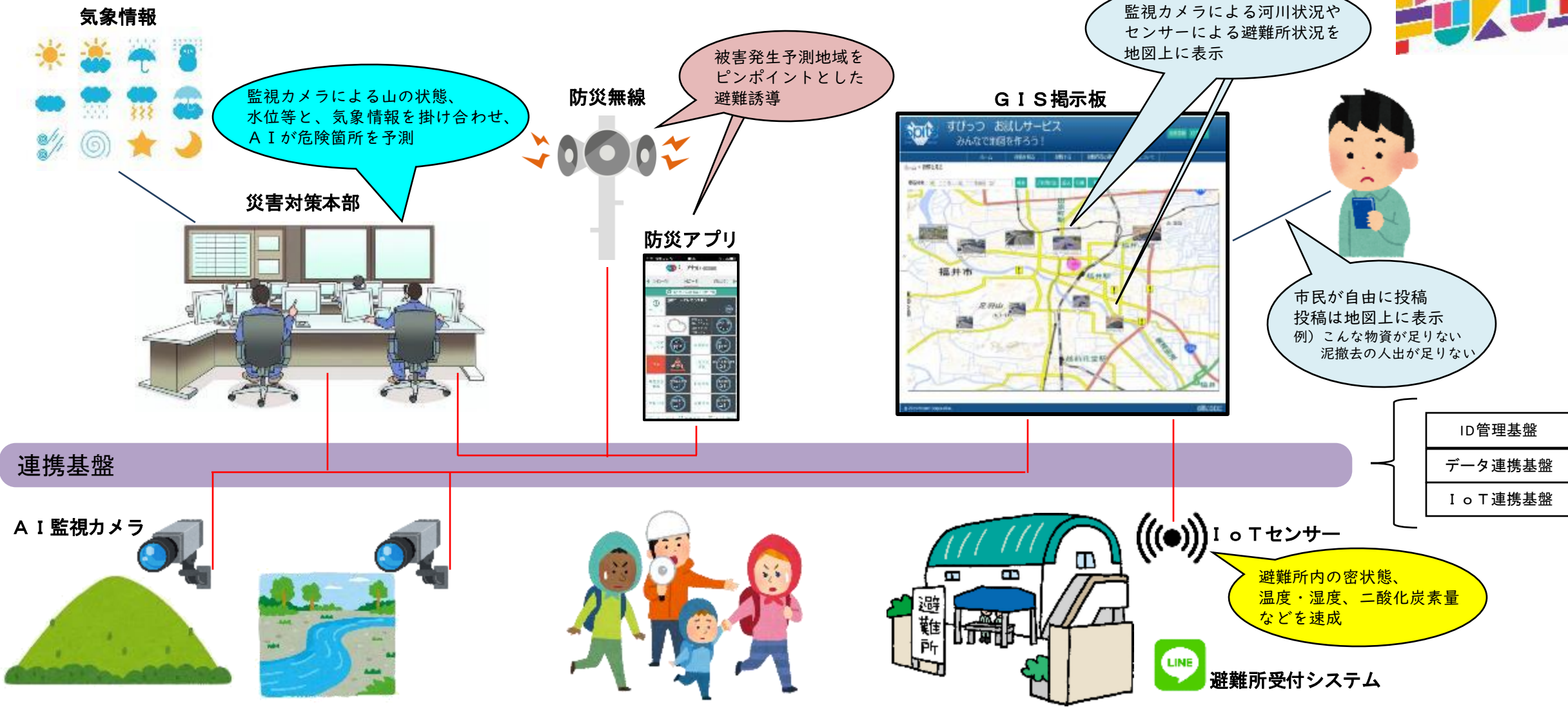








# 連携基盤でつながる災害対応



気象情報



監視カメラによる山の状態、水位等と、気象情報を掛け合わせ、AIが危険箇所を予測

災害対策本部



防災無線

被害発生予測地域をピンポイントとした避難誘導

防災アプリ



GIS掲示板



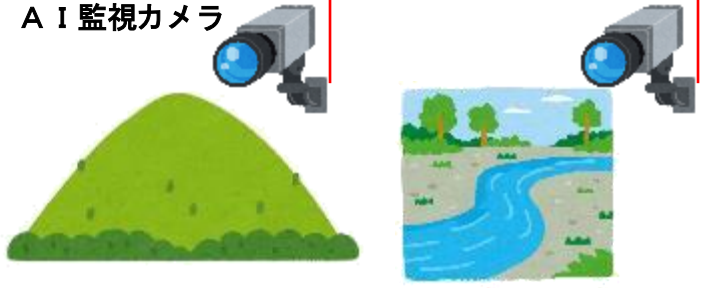
監視カメラによる河川状況やセンサーによる避難所状況を地図上に表示



市民が自由に投稿  
投稿は地図上に表示  
例) こんな物資が足りない  
泥撤去の人出が足りない

連携基盤

AI監視カメラ



IoTセンサー

避難所内の密状態、温度・湿度、二酸化炭素量などを速成



避難所受付システム

- ID管理基盤
- データ連携基盤
- IoT連携基盤



## 福井市中心としたMaaS協議会発足

福井市とも連携しながら対象40万人に向けても展開検討がスタート  
福井県の調達システムとも連携しながら検討が進みます。

# CSPFC事務局からの案内

スマートシティの取組みは豊能町とCSPFCとの連携協定をもとにおこなっております。  
今後月例で原課にも分科会参加を予定します。

- ・ 各原課とのMeeting希望時の流れ  
 企業→CSPFC事務局→まちづくり創造課→原課  
 (状況把握のため、できる限り事務局同席でお願いします。オンラインで繋ぐなど)

## 原課とのMeeting注意点

企業から直接のコスト提示/交渉を原課と調整は行わない。

交付金や助成金の割り当てがあるので、CSPFC事務局とまちづくり創造課で確認が必要

- \* コスト提示を原課と企業単独で行うと割り当てができず、案件が止まります。
- \* 助成金の場合は、CSPFCが半額補填、国が半額補填しているので、割り当てができません。  
 CSPFCの補填は執行理事会および事務局での確認が入ります。  
 国からの予算（補填）：
  - ・ 各省庁の基本方針に従う。（横展開向け、新規性追求、実装/実証など）
  - ・ 予算の重複は、不可事項です。（予算の2重取りは禁止。場合により法的に裁かれます）
  - ・ 条件成立しない場合は、補助額返還を求められます。
- \* 企業がCSPFCに半額補填してでも行う事業がある場合は別途相談ください。

2022年 6月

2日 オンライン

9日 オンライン→会議室貸出のお願い

(10日 セミナー)

16日 オンライン

23日 現地開催予定

30日 オンライン

1回 34万程度

デザイン作成、印刷、全戸配布、問い合わせ対応まで含む

以下のスケジュールや条件が必須となります。

———

- ・豊能町全戸配布の場合：毎月20日に納品必須
- ・かならず前月の20日までに制作をご依頼ください

前月20日...発注

10日...デザインFIX /入稿

20日...西地区ポスティング手配完了／東地区に仕分け納品

※年末年始の場合は印刷所の兼ね合いでスケジュールが変わります。別途お問い合わせください

※上記のスケジュールよりお急ぎの場合は、別途特急料金（10万～）がかかります。



## 横展開ワーキング仕分け開始（4月1日から各公募が始まります） 調査担当会社

事業名	担当省庁	担当企業	
自治体情報システムの標準化・共通化に向けた環境整備 （デジタル基盤改革支援補助金）	総務省	ISID/NESIC	○
全国的研究データ基盤を中核とした世界最高水準の情報インフラの整備・活用	文部科学省	真子	
公的職業訓練におけるIT分野の訓練コースの設定促進	厚生労働省		
教育訓練給付におけるデジタル分野の講座充実	厚生労働省		
DX推進施策（DX銘柄・DX認定等）を通じた人材育成促進	経済産業省	NoCode	○ 4月18日～5月17日
デジタル活用支援推進事業	総務省	CSPFC	○ ～5月13日
デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ）	内閣府	CSPFC（豊能町）	○
デジタル田園都市国家構想推進交付金（地方創生テレワークタイプ）	内閣府		追加があるか？
地方創生推進交付金（先駆タイプ、横展開タイプ）	内閣府	CSPFC（豊能町）	○
地方創生推進交付金（Society5.0タイプ）	内閣府	CSPFC（豊能町）	未
地域課題解決のためのスマートシティ推進事業	総務省	CSPFC	○
まちづくりのデジタルトランスフォーメーションの推進	国土交通省	関西電力	○：国交省へ問い合わせ
スマート農林水産業の全国展開に向けた導入支援事業 【再掲】	農林水産省林野庁 水産庁	Andeco	○

国交省：まちなかウォーカーブル予算（公園整備）

事業名	担当省庁	担当企業	
中小企業サイバーセキュリティ対策促進事業	経済産業省	(NESIC)	引き続きトラッキング。江川IPA含めて確認
観光DX推進緊急対策事業	観光庁	(おてつたび)	×
DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進による観光サービスの变革と観光需要の創出	観光庁	(おてつたび)	○
地方創生テレワーク推進事業	内閣府	NESIC	(デジ田に組み込み)
関係人口創出・拡大のための対流促進事業	内閣府	(おてつたび・ドコモ)	○ 5月23日～6月7日
日本版MaaS推進・支援事業	国土交通省	ドコモ・SWAT	○
地域公共交通の維持・活性化事業	国土交通省	ドコモ・SWAT	○
個別最適な学びを実現するためのGIGAスクール構想の推進	文部科学省	スクールエージェント	未発表
ヘルスケアサービス社会実装事業 (うちPHRサービスの発展に向けた環境整備事業)	経済産業省	スパーク	○5月9日～5月31日
住民の実感が伴う分かりやすい防災情報の発信等による安全・安心につながる流域治水DXの推進	国土交通省	三井住友・インター・ITSCOM	×
地域脱炭素移行・再エネ推進交付金 (第一弾 選考地域 発表)	環境省	関西電力・ISID	第2弾夏 (50億: 2/3)
脱炭素社会実現のための機関	環境省	関西電力・ISID	(200億)
地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業	経済産業省	CSPFC	○
地域女性活躍推進交付金	内閣府	斎藤	未 (昨年4回)

会議名	日時	URL	ミーティングID	パスワード
豊能町定例会議	木曜日 10:00～12:00	<a href="https://us02web.zoom.us/j/89314973306?pwd=d25wTmVXayt6MlVDRGpuTGM3UVh3QT09">https://us02web.zoom.us/j/89314973306?pwd=d25wTmVXayt6MlVDRGpuTGM3UVh3QT09</a>	893 1497 3306	393337
豊能町CSPFCブリーフィング	木曜日 12:00～12:30	<a href="https://us02web.zoom.us/j/86786627339?pwd=UVhaK2ZSL0lnY2FaNDdoTDRYczdqUT09">https://us02web.zoom.us/j/86786627339?pwd=UVhaK2ZSL0lnY2FaNDdoTDRYczdqUT09</a>	867 8662 7339	915948
見守り	火曜日 17:00～18:00	<a href="https://nesic.zoom.us/j/95716504853?pwd=cWx5U21Cbmx2bC9zbFpCQUVwOGVwUT09">https://nesic.zoom.us/j/95716504853?pwd=cWx5U21Cbmx2bC9zbFpCQUVwOGVwUT09</a>	957 1650 4853	542034
ヘルスケア	不定期	固定なし		
子育て				
買い物支援				
デジタル教育	不定期	固定なし		
観光	不定期	固定なし		
地域経済	水曜日 13:00～14:00	<a href="https://zoom.us/j/98287834044?pwd=RDg0TmhJUkFBNWJpckplcmd0YVNwZz09">https://zoom.us/j/98287834044?pwd=RDg0TmhJUkFBNWJpckplcmd0YVNwZz09</a>	982 8783 4044	438741
モビリティ	不定期	固定なし		
インフラ				
行政デジタル	水曜日 14:00～15:00	<a href="https://nesic.zoom.us/j/99941695559?pwd=UFcybG1BaENLOUNsdWFHeFRnQURFdz09">https://nesic.zoom.us/j/99941695559?pwd=UFcybG1BaENLOUNsdWFHeFRnQURFdz09</a>	999 4169 5559	861296
防災				







# 分科会

1. 見守り（NECネットエスアイ） アイテック 阪急阪神 ミマモルメ
2. ヘルスケア（OZ1） Green Bioanalytics Maria I&H スパーク Y4 ウエルグループ イッツコム イッツコム ドコモ MOVETEX  
Nocode Japan
3. 子育て（NECネットエスアイ）
4. 買物支援（三井住友） ビットキー
5. デジタル教育（OZ1） NoCodeJapan とよのていねい
6. 観光（OZ1） おてつたび
7. 地域経済（OZ1） Digital Platformer） とよのていねい NoCode Japan ドコモ
8. モビリティ（ドコモ） 関西電力 SWAT Mobility OZ1 アイサンテクノロジー
9. インフラ（関西電力） アンデコ 電通国際（脱炭素）
1. デジタル行政（NECネットエスアイ） アスコエパートナーズ OZ1 電通国際 ロボットコンサルティング
11. 防災（三井住友） Green Bioanalytics イッツコム
12. セキュリティ委員会